



名古屋市立大学  
薬学部  
大学院薬学研究科



## CONTENTS

1-2	アドミッションポリシー
3	薬学部 of 概要
4	卒業研究を行う研究室
5-12	生命薬科学科
7-10	入学から卒業まで
10-11	大学院進学について
12	卒業生からのメッセージ
13-18	薬学科
15-20	入学から卒業まで
21	大学院進学について
22	卒業生からのメッセージ
23	薬学部 of 先輩たち
24-26	進路
27-28	キャンパス案内
29	キャンパス周辺
30	学生生活Q&A
31	名古屋市立大学薬学部 to 入学するには

### 修得しておくべき知識等の内容・水準

#### 両学科共通

薬学部では、両学科とも広範で多様な学問分野を総合的に学習します。また、どのような分野で活躍するにしても、語学力(国語、英語)が必要とされます。したがって、薬学部での学修を実り多いものとするために、入学までに、化学、物理学、生物学、数学、語学の基礎学力をつけておくことが必要です。さらに、部活やボランティアなど、様々な活動に積極的に取り組むことで、表現力やコミュニケーション能力のほか、幅広い視野と高い倫理観、そして豊かな人間性を育むことが望ましいです。

#### 選抜方法

志望する学科に必要な幅広い知識、思考力、学習意欲、探究心、倫理観を有する学生を、以下の方法により選抜する。

## アドミッションポリシー

### 理念・目的・教育目標

薬学は、様々な基礎科学を薬に関して総合し、医療への応用を目指す学問です。

医療に不可欠な学問である薬学を志す人は、薬を通じて人類の健康と福祉の発展に貢献することが求められています。

これを踏まえ、薬学部では生命薬科学科と薬学科を設置し、薬の創製・生産・臨床応用・適正管理・適正使用のための基礎知識と創造力・研究能力を有し、世界に羽ばたける多彩な薬のスペシャリストを社会に送り出すことを目指しています。

### 求める学生像

#### 両学科共通

##### ◆薬学への強い意欲と探究心を持った人

科学としての薬学に強い学習意欲と探究心を有している人を求めます。

##### ◆医療・薬学への使命感と倫理観を持った人

薬のスペシャリストとして医療現場での薬剤師活動、医薬品の研究開発、行政などを通じて、人類の健康と福祉の発展に貢献するという使命感と倫理観を持てる人を求めます。

##### ◆科学を中心とする幅広い学力を有する人

薬学は自然科学の応用分野で、理科系の学力を重視します。しかし、薬剤師や薬学分野の研究者・技術者には、社会科学や人文社会学をも含む幅広い学問知識と教養が必要です。そのため、文科系科目に関しても基礎的な知識を有する人を求めます。

##### ◆国際的な視野とコミュニケーション能力を持てる人

医薬品研究開発や医療人としての活動において、国際的なレベルでの連携が不可欠な時代となっています。将来、国際的な視野で考え、コミュニケーションを円滑に取り、行動できる能力の獲得を目指し、そのための努力を継続できる人を求めます。

##### ◆大学院への進学意欲を持つ人

卒業後は大学院に進学して創薬・生命科学、臨床薬学の進歩に貢献しようとする強い意欲を持った人を求めます。

#### 生命薬科学科

##### ◆生命科学としての薬学への向学心を有する人

将来、基礎薬学研究や医薬品開発等を通じて、科学者として人類の健康と福祉の発展に貢献しようという情熱を有する人を求めます。

#### 薬学科

##### ◆医療人としての自覚を持てる人

将来、薬剤師として患者さんを思いやり、医療に携わる様々な職種の人々と協調して、患者さんのための医療に貢献しようという意欲のある人を求めます。

#### 【学校推薦型選抜A】

高等学校卒業レベルの基礎学力を持ち、薬学を学ぶ上で重要な科目への高い理解力と応用力を有し、意欲的で協調性に富み行動力に溢れる学生を選抜する。

調査書、志願理由書および面接試験では、理解力や判断力とともに、人間性、倫理観、協調性、向学心を評価する。

小論文試験では、化学の基礎知識、文章やデータを読み解く力、論理的思考力、英語力を評価する。

#### 【学校推薦型選抜B】

高等学校卒業レベルの基礎学力を持ち、薬学を学ぶ上で重要な科目への高い理解力と応用力を有し、意欲的で協調性に富み行動力に溢れる学生を選抜する。

大学入学共通テストでは、5教科7科目の試験を課し、基礎学力を評価する。

調査書、志願理由書および面接試験では、理解力や判断力とともに、人間性、倫理観、協調性、向学心を評価する。

#### 【一般選抜】

高校卒業程度の基礎学力を身につけ、特に数学、化学、英語について高い水準の学力がある人を選抜する。

大学入学共通テストでは、5教科7科目の幅広い基礎学力をはかる。

個別学力検査では、数学、化学、英語・生物を課し、理解力や応用力などを評価する。

#### 【私費外国人留学生選抜】

日本語で講義・実習を遂行できる程度の日本語能力を有し、数学、化学、英語について十分な水準の学力がある人を選抜する。

日本留学試験では、日本語、数学、理科(化学を必須とする)の基礎学力をはかる。

TOEICによって、英語力をはかる。

個別学力検査(面接試験)では、理解力や判断力とともに、人間性、倫理観、協調性、向学心を評価する。

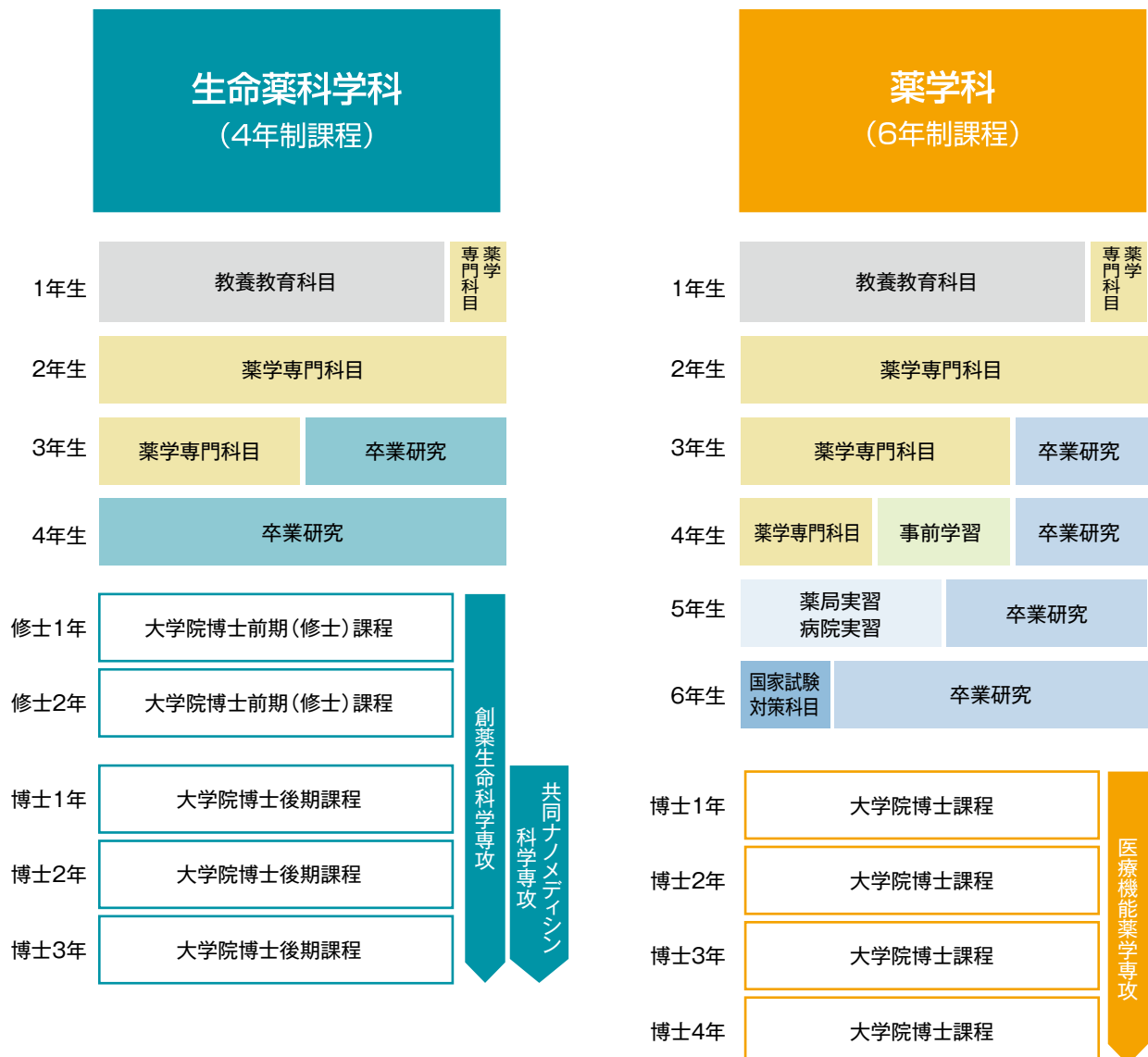
## 薬学部の概要

名古屋市立大学薬学部で、あなたの将来を切り拓いてみませんか？

### POINT

- 名古屋市立大学薬学部には、生命薬科学科と薬学科の二つの学科があります。
- 生命薬科学科では、薬と医療を中心とした科学を幅広く学び、研究の基礎を身につけます。
- 薬学科では、薬剤師に必要な知識・技能を身につけ、基礎的な研究能力も涵養します。

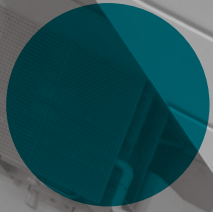
### 2つの学科と教育課程と大学院



## 卒業研究を行う研究室

学生は3年後期から、以下のいずれかの研究室に所属して卒業研究を行います。

研究室名	関連する疾患・キーワード	主な研究内容
薬化学	創薬化学(有機化学+生物科学)、 光治療薬、光検査薬、抗がん剤	新しい治療薬候補の探索・分子設計・化学合成・生物活性評価 光科学と有機化学に基づいた生命現象の化学的理解
精密有機反応学	革新的医薬創製、新機能分子	従来ない医薬創製法、及び新発想でナノ科学へ貢献する分子の開発
薬品合成化学	有機合成化学、天然物化学、 生物活性物質、分子骨格構築	特異な構造様式を持つ生物活性物質の全合成研究 新反応・方法論の開発
機能分子構造学	有機分子構築、 新規有機反応開発	薬物候補分子群の効率的な合成に関する研究、複数個の原料分子を 一挙に連結する反応(ドミノ反応)の開発と応用
生体超分子 システム解析学	アレルギー、神経疾患、 バイオイメージング	アレルギー疾患の発症機構の解明と抗アレルギー薬開発への展開 神経ネットワークの形成機構の解明と神経疾患の治療への応用
コロイド・高分子 物性学	ナノ粒子、ソフトマター、 自己組織化構造、診断薬	物理化学的手法によるソフトな系の実験、理論、計算科学的な研究 微粒子の集合構造とセンシングおよび医薬分野への応用
生命分子構造学	アルツハイマー病、 筋ジストロフィー、抗体医薬	脳の形成と病態にかかわる生命分子の構造と機能の研究、 バイオ医薬品の高機能化を目指した創薬研究
分子生物薬学	脳神経疾患、炎症、 細胞内オルガネラ	脳神経疾患の病態機構の研究、神経系と免疫系の関連機構の研究
薬物送達学	ドラッグデリバリーシステム(DDS)、 ナノメディシン、各種製剤	標的化ナノDDSの創製、経肺投与DDSの創製、mRNA創薬、 3Dプリンター製剤
生薬学	生薬、漢方薬、機能性食品、 植物バイオテクノロジー、内生糸状菌	漢方薬をはじめとする天然由来薬物の作用機序・有効成分の解明、 植物・微生物含有有用化合物の単離・生産
衛生化学	免疫制御、炎症、微生物、 感染症	疾患に関与する炎症反応と微生物に対する感染防御機構の解明 微生物由来因子の役割と治療への応用研究
遺伝情報学	RNA医薬、がん、神経変性疾患、 ウイルス性疾患、遺伝子治療	遺伝情報であるRNAの研究に基づいた細胞増殖、老化、 不死化の解明、人工RNAを用いた遺伝子治療、ウイルス性疾患の治療
細胞分子 薬効解析学	肺高血圧症、循環器系疾患、難病、 イオンチャネル、創薬	循環器系難病の病態メカニズム解明とイオンチャネル機能解析 イオンチャネルを分子標的とした新規肺高血圧症治療薬の創製
病態生化学	精神神経疾患、高次脳機能障害、 生体膜脂質、神経細胞生物学	脳の発達・機能・病態における遺伝子・タンパク質・脂質の機能解明 遺伝子改変技術を利用した、脳の機能と病態の研究
薬物動態制御学	代謝、生活習慣病、 ドラッグデリバリー	代謝関連物質の体内動態機構と生理・病態との関わり 代謝関連物質の生活習慣病治療薬としての活用、デリバリー、用法
病態解析学	脳保護治療、がん微小環境、 小児がん	グリアによる脳保護治療、微小環境に注目したがん治療
細胞情報学	がん、糖尿病、炎症、 ストレス	環境変化に対する細胞の反応とその異常に起因する疾患の研究 がんの生物学的特性の解明と新規分子標的薬の開発研究
神経薬理学	概日周期と睡眠・覚醒制御機構、 神経障害性の痛み	体内時計と眠りを制御する脳のメカニズムの解明 持続する神経障害性の痛みを和らげる鎮痛薬の研究
医薬品安全性 評価学	副作用、医療情報、 バイオマーカー	医薬品による副作用の発症に関連するバイオマーカーの探索 人工知能を用いる医療情報の分析
病院薬剤学	性機能障害、下部尿路機能障害、 薬剤性腎障害	臨床に直結した研究テーマの実践、名古屋市立大学病院の医局・薬剤 部との共同研究、薬剤師の視点で取り組む臨床研究
臨床薬学教育研究 センター	ヒトiPS細胞、代謝遺伝疾患、 薬剤師教育、薬局	ヒトiPS細胞の各細胞への分化と医薬品開発研究への応用 薬剤師教育方法、薬局との共同研究



# Faculty of Pharmaceutical Sciences

# 生命薬科学科

豊富な研究機会。  
科学的思考(サイエンティフィック・マインド)の  
訓練と実践。  
薬の科学のスペシャリストに!



## 生命薬科学科の概要

薬学は医療に不可欠な学問分野の一つです。薬学を学んだ人は、薬を通じて人類の福祉と発展に貢献することができ、様々な場面で活躍できる薬のスペシャリストになることが期待されています。

生命薬科学科では、生命・薬などに関わる「モノ」の本質を科学的な目で捉える力と国際社会に目を向けた幅広い視野を養います。これにより、医薬品開発や生命科学の探求等を通じて医療へ貢献する、薬の科学のスペシャリストを目指します。

また、大学院に進学し、最先端の生命科学・創薬科学の研究に積極的に関わることが強く期待されています。



## 生命薬科学科の特徴

### 1. 研究経験重視の教育カリキュラム

2年生前期に研究室体験ができる。  
3年生後期から研究室での本格的な卒業研究に取り組む。  
薬の科学の専門家として必要な研究発表能力・説明能力を伸ばす。

### 2. 薬に関わる様々な科学に興味に応じて学習できるカリキュラム

3年生後期では多数の薬学系専門科目から興味に応じて学習科目を選択できる。

### 3. 併設の薬学科と同じクラスで基礎薬学科目を学習するカリキュラム

薬の臨床面を学ぶ仲間を持つことで、医療現場を理解しつつ研究開発・行政を担う薬学専門家に。



# 生命薬科学科 入学から卒業まで

入学

1 年生  
 滝子キャンパス

大学生としての教養を学びます。  
 また、薬学の専門科目も一部が始まります。

● 教養教育科目の履修

生命薬科学研究入門(薬学キャンパス)  
 理系の基礎科目、外国語・英会話、  
 体育、特色科目

● 専門教育科目の履修

薬学概論、薬品分析化学、薬学有機化学、  
 機能形態学、薬学物理化学、基礎生物化学



## 生命薬科学研究入門

「『抗がん剤はなぜがんに効くの?』高校生妹に聞かれて、薬学部に入学生たばかりの雅治は答えに窮した…」与えられたシナリオに基づいて徹底的に討論しながら科学的な考えを深めていく、普通の講義とは違うユニークな授業。1年生の前期科目では唯一、薬学キャンパスで開講。



山崎 美音 さん

愛知・一宮高卒

生命薬科学科研究入門は、PBL(Problem Based Learning 問題解決型授業)と研究室訪問の2つからなる授業です。PBLでは8~9人のグループに分かれ、グループ毎に異なるシナリオについて議論します。私たちのグループは癌

の治療薬についてでした。まず、シナリオを読み疑問に思ったことを話し合います。知らないことを授業中に調べるのは禁止で、自分たちの知識だけで議論を行い、問題点をあげ解決策を探ります。分からないことは、分担し次の授業までに調べます。議論の中で、自分一人では思いつかないような解決案が出てくることが、この授業の醍醐味です。意見をまとめ、授業の最後には他のグループの前でプレゼンテーションを行います。常に積極性が求められ、知識のみならず考える力を身につけることができました。

研究室訪問では一つの研究室を訪問し、どのような研究をしているのか見学したり、実際に実験を体験したりすることが出来ます。先輩方が真剣な顔で実験している姿は、勉強のモチベーションになりました。最後に、研究室訪問での体験をまとめ、他のグループと情報を共有します。今後、どのような研究分野に進みたいかを考える上で、とても役立ちました。

2 年生  
 田辺通キャンパス

研究室での  
 研究体験が  
 できます!  
 (希望者)

### 前期

薬学関連の専門的な勉強が本格的に始まります。

● 専門教育科目の履修

薬学概論、先端薬科学、機能形態学、薬学物理化学、  
 機器分析化学、薬学無機化学、生物薬品化学、生薬学、  
 薬理学、薬剤学、製剤学、生物統計学、有機反応化学、  
 薬学英語

### 後期

薬学の研究に必要な専門知識がどんどん増えてきます。

● 専門教育科目の履修

薬学物理化学、生物薬品化学、  
 微生物薬品学、生薬学、  
 薬理学、薬剤学、製剤学、  
 有機反応化学、物理系実習、  
 化学系実習



生命薬科学研究入門の様子

## 化学系実習



原 悠都樹 さん

広島・広島学院高卒

化学系実習では高校化学の授業でやったような分液操作やイオンの定性分析、大学に入って初めて見るような実験器具を用いて物質を作り、それを用いてまた新しい物質を合成

する多段階合成、様々な薬品を用いた未知検体の特定などを行います。実験内容は難しそうだと感じるかもしれませんが、最初は基礎的なことから始まり徐々に発展的な内容を扱うのに加え、先生方が丁寧に教えてくださるため、段階を踏んで理解でき、実習が終わる頃には実験技術や化学に関する知識がしっかりと身につきます。

実習を通して教科書や図表に載っているような薬品を実際に見たり、手に取ったりすることで物質がどんな色や形、においをしているか、どのような作用で働くのか、などといった知識も深めることができます。毎日実習があってレポートを書いて普通の授業も受けて…となかなかハードなスケジュールになってしまっていますが楽しく実験ができる良い実習でした。





## 前期

薬学の研究に必要な専門知識をさらに学びます。ここまでで、研究に必要な薬学の専門知識の学習がひととおり終わります。

### ●専門教育科目の履修

構造生物学、衛生化学、細胞生物学、  
医薬品代謝学、薬理学、臨床薬理学、免疫学、  
病態生化学、医薬品情報学、有機反応化学、  
薬学英語、有機化学演習、生物系実習、  
医療機能系実習

## 後期

研究室に所属して、卒業研究を開始します。学位の取得を目指してそれぞれの学生が研究テーマに取り組みます。教科書で学ぶのとは違い、予め正解がある訳ではありません。自分自身で答えを探っていく研究の面白さを味わいます。

また、講義や演習でより高度な専門知識や最先端の知識を学びます。

### ●専門教育科目の履修

環境衛生学、漢方薬物治療学、放射薬品学、薬理学、  
臨床薬理学、医療経済学、薬事関連法・制度、公衆衛生学、  
薬学英語、医薬品化学、生物有機化学

### ●卒業研究実習の履修

### ●生命薬科学科目\*の履修

### ●演習科目の履修

薬学情報処理演習、プレゼンテーション演習

\*次の科目から自由選択

有機金属化学、コロイド・高分子科学、バイオインフォマティクス、  
ケミカルバイオロジー、分子神経科学、ドラッグデリバリー論、  
創薬科学・知的財産活用論

## プレゼンテーション演習

生命薬科学の必修科目。研究者に必要な「成果を発表する能力」「一般の人たちに説明する能力」を養う演習。これからの時代を担う研究者は、社会への説明責任や、科学の普及も大切な役割となる。この時に役立つ「プレゼンテーション能力」を身につける。



## 生命薬科学科目

生命薬科学科の履修科目。専門的な最先端科学に関する科目を自由に選択して履修する。研究室の先生から先端研究に関する講義を受けられる。



徳永 柁さん

京都・洛南高卒

生命薬科学科の学生は、3年生後期に生命薬科学科目を履修し、同時に研究室に配属されて卒業研究を始めます。生命薬科学科目の講義を通して、実際の研究に近い専門的な内容や、研究室で実験を行う上での基礎知識を学ぶことができます。選択できる科目数も多く、様々な分野を専門とする先生の講義の中から、自分が興味のあるものを自由に履修できます。私は脳の発達や機能に興味を持ったので、「分子神経科学」を履修しました。最先端の研究内容を学ぶ環境が整っていることが非常に嬉しかったです。幅広く専門的な知識を身につけることで、卒業研究がより充実したものになると思います。配属された研究室では、先生や先輩に教えていただきながら研究を進めていきます。初めは講義や実習との違いに大変さを感じることもありますが、次第に専門的な知識を身につけること、実験手技を磨くこと、実験結果から考察することに面白さや魅力を感じると思います。

## 生物系実習



田代 耀さん

愛知・南山高卒

生物系実習では、DNAや抗体、アミノ酸などの生体分子を用いて実験を行います。DNAなどの生体分子は、普段の生活で「もの」として見ることはできませんが、様々な方法によって可視化され、物質の性質を理解することが可能になります。高校や大学の授業ではなかなか理解できなかった内容も、実際に考えながら実験することで、理解が深まり、さらに興味を持つことができます。

特に生物系実習の実験は、繊細な操作が非常に多く、初めは不安な気持ちもありますが、実習が終わる頃には自信を持って実験を行うことができ、自身の成長を感じることができます。このような実験技術は、今後の研究にも必ず役に立つので、進んで実験に参加することが重要です。

内容や操作が難しいと感じることもありますが、指導してくださる先生、先輩に質問したり、班の友人と話し合って問題を解決することができます。連日実験があって大変ですが、充実した日々を過ごすことができます。

4 年生

大学院入試  
があります

学士を取得

卒業

それぞれの研究室で、1年間じっくり卒業研究に打ち込みます。大学院生の先輩の姿を見ながら、本格的な研究について学びます。自分自身で研究し、見いだした成果を卒業論文にまとめます。

- 生命薬科学演習の履修
- 薬学特別演習の履修
- 卒業研究実習の履修



## 生命薬科学演習



井上 匠 さん

大阪・北野高卒

この科目では、1年生の生命薬科学研究入門で行われるPBLのチューター、日帰りでの研究所の見学を行いました。PBLのチューターは主に1年生間での議論が上手く進み、より盛り上がるようサポートするのが役目ですが、入学したての1年生の活気ある雰囲気に私自身も刺激をいただき学ばせていただくが多かったです。研究所見学では、名古屋市衛生研究所を見学させていただきました。4年になり今後の進路についても考え始めた時期であったため、選択肢の1つであった研究者の道に進んでいる先輩方のお話を伺い、質問もさせていただいて大変参考になりました。これに加えて例年行っている1泊2日での愛知県外にある企業の研究所の見学は、私がこの授業を履修した2021年度はコロナの影響で行うことができませんでした。しかし、日々の研究室での実験への意識も大きく変わり、生命薬科学演習の履修は非常に良い経験であったと考えています。

## 卒業研究実習

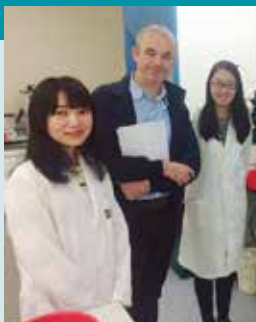


中垣 春奈 さん

愛知・滝高卒

生命薬科学科の学生は3年次後期から研究室に配属されます。研究室は化学系、物理系、生物系、医療系に分けられ、配属されると、高度な専門知識を学びながら研究を進めていきます。配属前に各研究室の研究内容の説明会があり、その後、気になった研究室を訪問して先生や先輩に話を聞くなどして研究室を選びます。研究テーマは、先生にいくつか提示されたものの中から、同期の人と話し合っ自分特に興味があるものを選ぶことが多いと思います。初めのうちは分からないことばかりですが、先生や先輩に実験手法などを教えていただいたり、研究内容に関わる文献を読むことで知識を身につけていくうちに、少しずつ慣れていきます。先生方とは、得られた実験結果をもとに定期的にディスカッションを行います。研究内容に対する考察を深めながら、研究を進めることができます。研究には失敗がつきもので落ち込むことも多いですが、失敗から学ぶことも多く、失敗を踏まえて次はどうするかを考えることがとても重要だと思います。卒業研究を通して、実験手技だけでなく、論理的に考え課題を解決する能力を身につけることができ、これは将来社会に出てからも役立つものだと考えています。

## 香港大学での交換留学プログラム体験談



神谷 悠乃 さん (写真左) 愛知・岡崎高卒

私は、香港大学医学部薬学科でAlan先生、Winston先生の下で研究を6週間行いました。研究内容は、タンパク分解酵素に対する植物由来成分の作用についてです。酵素は、食物の消化を助けるなど、生体内でとても大切な働きを担います。私は、牛肉のたんぱく質を分解し柔らかくて美味しい食感を作り出したり、美白効果を謳っている石鹸に使われている酵素を阻害する成分を探索しました。その結果、4種類の植物由来成分が阻害活性をもつことを確認しました。

また、香港大学では英語で行われる講義や実験プログラムが数多く用意されています。研究室のメンバーに相談して、研究の合間にはそれらに参加させてもらいました。日本では身近に学ぶことのできない中医学に触れることができましたし、とても充実した香港大学の留学プログラムに、一部ですが参加できたことは、とても貴重な経験となりました。

大学院

さらに  
本格的な研究を  
続けます

修士課程

博士課程

修了

修士・博士の学位を取得し  
薬の科学の専門家として、  
社会の様々な場面で活躍します。

社会へ

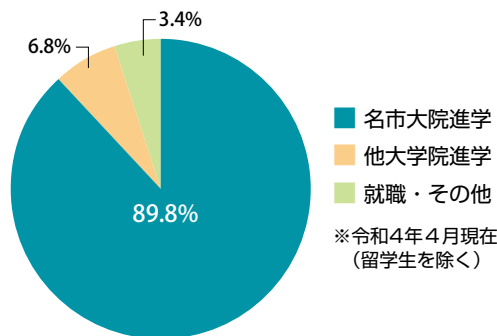
## 大学院進学について

大学院では研究室に所属し、研究活動を行います。研究内容は、有機化学、物理化学、生化学、薬理学、など多岐にわたりますが、いわゆる学生実習とは全く異なり、世界中の誰も知らない未知な事象が対象です。皆さんが得る実験結果は、研究に従事した皆さんが世界ではじめて手にする内容なのです。研究内容は国内外の学会で発表され、著名な学術雑誌に報告されます。

生命薬科学科では、3年後期から約1年半の期間、卒業研究を行います。研究者として自立した力を身につけるためには十分とは言えません。そのため生命薬科学科は大学院博士課程と連携しており、大学院への進学が強く望まれています。令和元年度から令和3年度の卒業生は、約95%が本学または他大学の大学院に進学しています。名古屋市立大学には、博士前期課程(2年間)と博士後期課程(3年間)からなる大学院が設置されています。



研究風景



### 生命薬科学科は大学院博士課程と連携

研究者・技術者としての基礎を身につける

薬学部・生命薬科学科

4年間

学士(薬科学)取得

問題解決能力を身につける

薬学研究科  
大学院博士前期課程

2年間

修士(薬科学)取得

自立した研究者となるには  
最低限必要

課題設定能力を身につける

薬学研究科  
大学院博士後期課程

3年間

博士(薬科学)取得

# 生命薬科学科

## 国際学会発表支援制度 (大学院生)

本学では、大学院生を対象に「国際学会発表支援制度」を充実させています。海外の国際学会で自ら発表する学生には、旅費及び滞在費が支援されます。世界の研究者の前で、皆さんの研究成果を発表してみませんか？

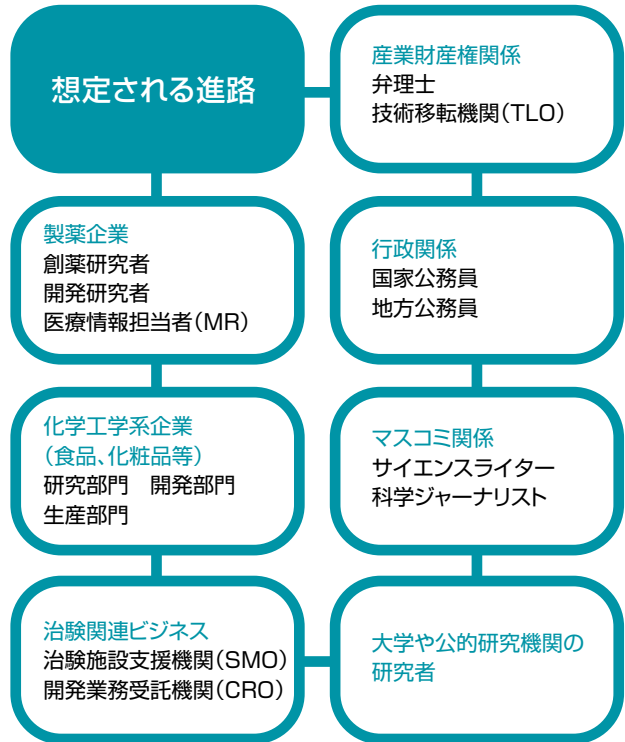


## 大学院博士後期課程について

2年間の博士前期課程を修了後、さらに研究能力を高め、世界で活躍できる自立した研究者を目指す人は、3年間の博士後期課程に進学することができます。博士後期課程では、本学の創薬生命科学専攻に所属する教員の指導を受け、最先端の研究を行い、研究者としての専門的な能力を身につけます。また、本学は名古屋工業大学との共同大学院として共同ナノメディン科学専攻を設置しています。この専攻では、薬学の強みである薬に関する先進的な科学と、工学の強みである最先端のテクノロジーの両方を学ぶことができます。博士後期課程修了後には、創薬科学、生命科学の研究者あるいは薬工融合型の人材として幅広く活躍することが期待されています。

## 大学院進学後の進路について

平成18年度から全国の薬学部のほとんどが6年制となり、大学院と連携して教育・研究を行う4年制学科は貴重な存在となりました。そのため高い研究能力をもち、薬学の知識・技能を学んだ研究者は、多様な業種からの需要が期待されます。大学院修了後は、以下のような進路が考えられます。



## 在学生からのメッセージ



**梅村 悠太さん**  
愛知・旭丘高卒

生命薬科学科では3年生後期から研究室に配属されて、薬学に関する最先端の研究に取り組みます。大半の学部生が博士前期課程に進学するため、合計3年半のあいだ、研究に従事します。本学は多種多様な研究設備を備えており、また数々の優れた実績を残されてきた先生方が在籍しています。このようなハイレベルな環境下で研鑽を積むことで、研究能力を十分に養成できます。

私は、ジャーナルや書籍に掲載される最新情報の収集、先生方や研究室のメンバーとの議論を通じて得た新たな知見・着想を基に日々実験に邁進しています。新たな治療法の確立を目指し未知の事柄の解明に取り組むため、失敗や困難に直面することは多々ありますが、それを乗り越え、新しい事柄を発見する際の喜びは格別であり、他では得難いやりががあります。

薬学部は物理系・化学系・生物系・臨床医療系と幅広い分野の研究を行っています。進路選択で迷われている方は、ぜひ薬学部に進学して様々な分野を覗いてみてください。

## 在学生からのメッセージ



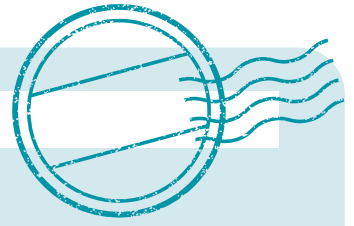
**沈 佳娜さん**  
岡山・岡山白陵高卒

薬学は、高校でも学ぶ化学・生物・物理学を始め、有機反応学や薬理毒性学などの幅広い学問分野から成り立っています。博士前期課程では学部で身につけたそれらの知識をもとに、興味を持った分野で研究を進めることができます。私たちの大学には幅広い領域をカバーできる数多くの研究室があり、多方面から医薬品の研究ができる環境が魅力の1つです。

配属された研究室では、学部時代を含め約3年半の間卒業研究に取り組みます。世界でもまだ明らかにされていない事象の解明に挑むことが多く、3年半という期間は長いようでとても短いです。私は、抗体医薬に関する研究を行っており、信頼できる先生や研究室メンバーとのディスカッションを楽しみながら、日々試行錯誤を繰り返しています。苦勞も多いですが、その分、自分の手で新たな知見を世界に発信できた時の感動はひとしおでした。

弊学の卒業生は、薬学の知識を活かしあらゆる分野で活躍しています。学びの環境が備わっている弊学に、ぜひ自分の目指したい将来像を探しに来てください。

## 卒業生 からのメッセージ



楯野 真也 さん

塩野義製薬株式会社  
R2年博士前期課程修了  
三重・津高卒

私は高校生の時、「人のためになる職業に就きたい」という漠然とした想いしかありませんでした。そして、なんとなく薬学部の生命薬科学科に入学しました。こんな私ですが、卒業した今、「自分が開発した薬を世の中に出し、人々の健康に貢献したい」という大きな夢を持ち、製薬会社で薬の開発業務に邁進することができています。このような夢を持つことができたのは、間違いなく生命薬科学科で学び成長することができたからです。

生命薬科学科では3年次から研究室に配属されるため、早期から研究に取り組むことで、発想力や論理的思考力を培うことができます。また、本学の生命薬科学科には大きな特徴があります。それは、先輩や後輩との繋がりが非常に強いことです。研究室の仲間はもちろん、研究室外の仲間とも交流する機会が多く、常に切磋琢磨しながら成長できる環境が整っています。そのような環境で、私は自分の夢を見つけることができました。

皆さんも将来の夢や目標が決まっていなくて多いのではないのでしょうか？ 本学はその夢や目標を見つけるための大きな助けとなることと思います。



田頭 大志 さん

スイス・Vifor Pharma社  
H25年博士前期課程修了  
東京・海城高卒

日本で7年ほど内資および外資系の製薬会社で新薬開発に従事し、いくつかの新薬を世に送り出すことができました。その後、優れた日本の基礎研究をもっと新薬開発につなげたいと考え、ベンチャーエコシステムがより発展しているイギリスに、MBAを取得するために留学しました。MBAの勉強に励みながら、アルツハイマー病の早期診断機器を開発している大学発ベンチャーの日本市場参画の戦略立案をする貴重な機会にも恵まれました。MBA修了後、スイスに本社のある製薬会社で、新薬を日本に上市するための薬事戦略を担当しています。留学当初に描いていたキャリアとは少し異なりますが、海外から日本に新薬を届けられる仕事にやりがいを感じています。

思い返せば、海外を強く意識するようになったのは大学院生時に参加した国際学会のように思います。初めての英語での研究発表を通じて、国際舞台で活躍するための研鑽が必要だと気づきを得たことが、現在のキャリアにつながっています。皆さんも名工大薬学部で様々な機会を通じて気づきを得て学び、医療の発展に貢献されることを期待しております。



荻野 ひまり さん

武田薬品工業株式会社  
R2年博士後期課程修了  
京都・西京高卒

大学での研究生生活を振り返って今に活着いていると思うことは、困難や失敗から学び続けた経験、そして、大学や国の枠を超えた繋がりで。

未知の現象を探究することは難しく、壁にぶつかることが多々ありました。「自分は何がやりたいのか、どうすればよいのか」。本学では、多様な専門の先生方が手厚くサポートして下さいます。論理的思考力や問題解決力、失敗から学ぶ前向きな姿勢など、今思い返せば先生方から学ばせて頂いたことが多々あります。先生方との距離が近いアットホームな大学だからこそこの良さかもしれません。また、国際学会発表支援制度を活用したことで出会うことが出来た、多様な豊かな生涯の友人達も私の人生の糧となっています。

現在、私は製薬会社で患者さん由来のiPS細胞を用いて、創薬ターゲットとなる分子を探しています。経歴や国籍、立場の違いを超えて創薬に挑むチームの一員として働く中で、自身の常識にとらわれず挑戦する大切さを学べた本学での経験が今に繋がっています。

皆さんの「今」も必ず将来に繋がっていると思います。楽しい高校・大学生活を送って、「今」を「将来」に繋げて頂けますよう心より応援しています。



斎藤 彩有里 さん

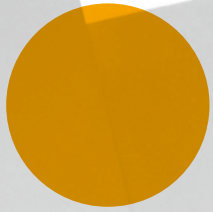
小野薬品工業株式会社  
R2年博士前期課程修了  
岐阜・関高卒

「自分で創った薬で世界中の人を救いたい」それが高校時代の私の夢でした。高校2年生の時に様々な大学のオープンキャンパスに行き、研究者養成に力を入れている本学に通うことで夢を現実にできると感じたため、生命薬科学科を志望しました。

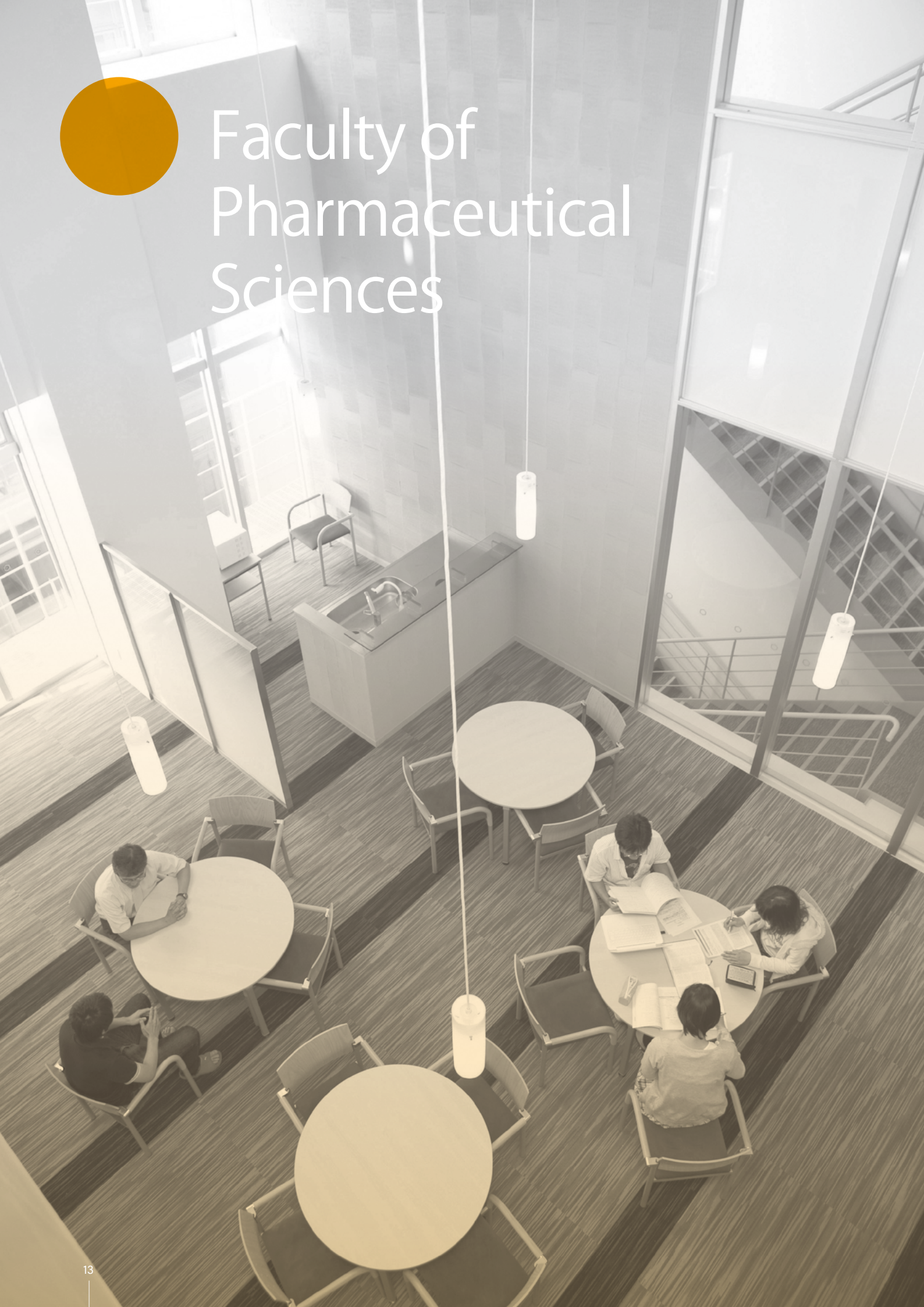
私は3年次後期の研究室配属より前から有機化学を専門とする研究室で研究体験をさせていただき、その後も卒業まで同じ研究室で研鑽を積みました。研究室生活では、実験手技以外にも先生や仲間との議論を通して論理的思考力や人に物事を伝える力を培うことができました。研究はうまくいかないことも多いですが、夢中で実験に打ち込んだ日々や思い通りの結果が得られた時の喜びはかけがえのない経験となりました。

現在は大学で学んだ有機化学の経験を生かし、製薬会社で創薬研究に携わっています。世界中の病に苦しむ人々のために研究ができていく誇りと喜びを胸に、夢に向かって邁進しています。

研究室生活だけでなく、薬学の知識を学んだ講義、クラスや部活で出会った仲間、どれを振り返っても本学に入学してよかったと思っています。皆さんもぜひ本学で学び、本学の環境を存分に活用し、自身の夢を実現させてください。



# Faculty of Pharmaceutical Sciences



# 薬学科

患者さんから信頼される医療チームの一員となって最先端の医療に参加しませんか？  
広い視野を持って未来の医療を担う  
人間性豊かな薬のスペシャリストに！



## 薬学科の概要

これからの医療では異なる医療専門家がチームとなって治療を行うことが求められています。薬剤師は、薬の専門家として患者さんに対して、また、医療チームの中でも重要な役割を担っています。薬学科では、広い視野、コミュニケーション能力と豊かな人間性を持った、医療、行政、教育、研究及び産業分野で活躍する薬剤師の育成を目指します。



## 薬学科の特徴

### 1. 医学部、看護学部と一緒に医療について学べるカリキュラム

臨床体験、BLS(Basic Life Support)講習や医療系学部連携チームによる地域参加型学習などを学べる早期体験学習があります。

### 2. 創薬から臨床、そして最先端の研究にわたって学べるカリキュラム

薬学科では以下のような目的意識をもって学べる講義を開講しています。

- ・薬を作る最先端の研究を学ぶ。
- ・診断、治療についての考え方を学ぶ。
- ・高度な医療や創薬について学ぶ。

### 3. 広い視野をもった医療人としての自覚と、薬剤師としての知識、技量を学ぶカリキュラム

病院、薬局で医療に携わっている薬剤師や医師から臨床について学ぶ講義を開講しています。

### 4. 医療や創薬についての研究ができるカリキュラム

3年次後期より各研究室へ配属され、医療や創薬に関する研究を行います。

### 5. 臨床薬学の進歩に貢献する人材の育成

臨床薬学の進歩に貢献する、指導的な人材、研究者及び教育者を養成するため、大学院を設置しています。

### 6. 卒業後も教育研修の機会がある大学

薬剤師学び直しやリカレント(生涯学習)教育に実績があり、卒業後も最新・最先端の医療について学べる講座を開講しています。



# 薬学科 入学から卒業まで

入学

**1** 年生  
 滝子キャンパス

大学生としての教養を学びます。  
 また、薬学専門科目も一部始まります。

●**教養教育科目の履修**

医薬看連携地域参加型学習

理系の基礎科目、外国語・英会話、  
 体育、特色科目

●**専門教育科目の履修**

薬学概論、薬品分析化学、薬学有機化学、  
 基礎生物化学、機能形態学、薬学物理化学

医薬看連携地域参加型学習



倉田 菜名 さん

茨城・清真学園高卒

医薬看連携地域参加型学習では、医学部・看護学部の学生とともに、1年を通して様々な活動を行います。将来、医療に携わるものとして持っておくべき基本的なスキル、

すなわち、一次救命処置、医療面接、手指衛生などを、講習を通して身につけます。また、臨床体験では、名古屋市立大学病院で実際に医療行為が行われている様子を間近で見学することができます。そして、3学部のメンバーで構成されるグループでの活動では、地域のニーズについて考え、自ら課題を見つけてその解決を目指します。話し合いや現地訪問を何度も繰り返しながらグループ全員で連携し合い、主体的に活動します。

薬学部・医学部・看護学部の3学部が揃う名古屋市立大学だからこそ実現できる実践的で画期的なこのカリキュラムを通して、1年生の段階からチーム医療に触れ、自分が目指すべき医療従事者の姿をより明確にイメージすることができるようになります。

**2** 年生  
 田辺通キャンパス

前期

薬学関連の専門的な勉強が本格的に始まります。

●**専門教育科目の履修**

薬学概論、先端薬科学、機能形態学、薬学物理化学、  
 機器分析化学、薬学無機化学、生物薬品化学、生薬学、  
 薬理学、薬剤学、製剤学、生物統計学、有機反応化学、  
 薬学英語、コミュニティ・ヘルスケア基礎

後期

薬学に必要な専門知識がどんどん増えてきます。

●**専門教育科目の履修**

薬学物理化学、生物薬品化学、微生物薬品学、  
 生薬学、薬理学、薬剤学、製剤学、有機反応化学、  
 物理系実習、化学系実習



早期体験学習（看護体験）



早期体験学習（BLS）



# 3 年生

## 前期

薬学に必要な知識をさらに学びます。

### ●専門教育科目の履修

構造生物学、衛生化学、細胞生物学、医薬品代謝学、薬理学、臨床薬理学、免疫学、病態生化学、医薬品情報学、有機反応化学、薬学英語、有機化学演習、生物系実習、医療機能系実習、コミュニティ・ヘルスケア応用

## 後期

さらに専門的な薬学の知識を学びます。  
研究室に配属になり卒業研究が始まります。

### ●専門教育科目の履修

環境衛生学、漢方薬物治療学、放射薬品学、薬理学、臨床薬理学、医療経済学、薬事関連法・制度、公衆衛生学、薬学英語、医薬品化学、生物有機化学、有機金属化学、コロイド・高分子科学、バイオインフォマティクス、ケミカルバイオロジー、分子神経科学、ドラッグデリバリー論、創薬科学・知的財産活用論、医療薬学、薬学情報処理演習、プレゼンテーション演習、基礎薬学演習

## 薬学科講義科目



中井 佳穂 さん

早稲田渋谷シンガポール高卒

3年生次には、化学反応や物質の性質に注目する有機化学、医薬品の作用機序を知る薬理学、食品や生活環境について学ぶ衛生化学、薬事関連法の授業など、

薬学について様々な切り口で理解を深めます。

3年生前期は、講義だけではなく生物・医療系実習があり、数人のグループで、細胞を使った遺伝子操作や、微生物を用いた抗生物質感受性試験、実験動物を使った薬効解析などを行います。実験後は結果について友達と議論を重ねることで知識の共有ができ、学びの多い時間となります。

3年生後期になると「病気・病態」に注目した授業が増え、それまでの「薬」を主軸とした知識を実際の症例に応用する授業が始まります。基礎薬学演習という科目では、模擬患者の生活状況や服薬履歴、臨床検査値などの情報が与えられ、グループごとに治療方法や改善策を提案するプロダクトを作成し発表します。講義で学んだ知識を総動員し、分からないことは学会や製薬会社が発行する治療ガイドライン・添付文書などを調べることもあります。知識の定着だけでなく、グループ活動を通して課題を解決するためのプロセスを身に着けることができます。

# 4 年生

卒業研究  
スタート

## 前期

臨床に関する講義が始まります。

### ●専門教育科目の履修

薬局管理学、医療薬学、卒業研究実習、コミュニティ・ヘルスケア発展



## 薬学科講義科目



武田 涼馬 さん

愛知・東海高卒

4年生前期では1~3年生で得た内容を踏まえた、より医療現場で活用される知識を学びます。

臨床薬学では様々な病気とそれに対応する薬物療法や薬の飲み合わせについて学びます。薬物中心で学習する1~3年生の講義とは異なり、患者や症状中心で学習します。問われる知識の範囲が広いため、丸暗記ではなくこれまでの内容を活用して理解していくことが必要となりますが、科目を超えて使われる点がとても興味深いです。

公衆衛生学では感染症について学習する以外にも、保健所や学校薬剤師の方のお話を聞くことができ、薬局や病院以外での薬剤師の活躍を知ることができます。

薬局管理学では薬局で働く薬剤師として必要な知識やこれからの薬局に求められる役割について学びます。

ここで学んだ内容は5年生での薬局実習や病院実習のみならず、将来の薬剤師業務にもつながります。



## 共用試験

OSCE: Objective Structured Clinical Examination  
(客観的臨床能力試験)、  
CBT: Computer Based Testing (知識試験)

## 後期

後期には実務実習事前学習と共用試験があります。

## ●専門教育科目の履修

薬学演習、臨床薬学実務実習(事前学習)、卒業研究実習

## 実務実習(事前学習)

4年次に実務実習(薬局実習・病院実習)に必要な知識と技能と態度を身につけるために行われます。処方せんや医薬品に関する講義、調剤や服薬指導など薬剤師業務に直結した実習を行います。



人体シミュレーターによる  
聴診器使用法の習得



模擬病室

## 実務実習(事前学習)



## 小西 紗菜さん

香川・高松高卒

4年次の実務実習(事前学習)では、5年次の実務実習に向けて、より実践的な学習を行います。

この事前学習では、大学の先生方だけでなく、病院や薬局、ドラッグストア等から現場の薬剤師さんや看護師さんなどが外部講師として来て下さり、講義をして下さいます。現場のお話を様々な角度から聴くことで、これまで漠然と持っていた薬剤師に対するイメージがより具体的になるとともに、自分の将来についても考える良い機会になりました。

演習の時間には、グループごとに症例検討を行ったり、大学の模擬薬局で軟膏や注射薬などの調製の練習を繰り返し行ったりします。また、ボランティアの模擬患者さんに対して服薬指導の練習も行います。

私が特に印象に残っているのは、糖尿病の患者さんが日々行っている自己採血や自己注射をデモ機で体験したことです。針の痛みや器具の扱い方を身をもって知っておくことで、今後患者さんから質問を受けた際に、より安心して使用して頂けるような説明が出来ればと思います。

他にも、OTC相談についての演習、接客マナーや医療現場での手話についての講義などもあり、毎日新しいことを体験するので、忙しいですがとても充実した約2ヶ月間でした。

## 共用試験(OSCE・CBT)

4年次に実務実習を行うための知識や技能が備わっているかを問う試験です。

OSCE(objective structured clinical examination)では、調剤の技術や、患者さんへの服薬指導などが適切に行えるかどうかが問われます。CBT(computer based testing)では、薬物治療のみならず、生化学・有機化学・物理化学の基礎的な知識も問われます。

これらの試験は、4年次の12月から1月にかけて行われます。この両方に合格しないと、実務実習を行うことはできません。



OSCE 無菌操作の実技試験

## CBT例題

- 日本人の死亡原因の第1位はどれか  
a. 心疾患 b. 肺炎  
c. 悪性新生物  
d. 自殺 e. 脳血管障害
- 麻薬に分類される薬剤はどれか  
a. バルビタール  
b. エフェドリン  
c. モルヒネ  
d. アンフェタミン  
e. ペンタゾシン

## 共用試験体験談



## 高森 雄貴さん

三重・暁高卒

共用試験は、薬局と病院で実習をする薬学生が十分な知識や技能を備えていることを保証するために実施されます。共用試験には技能・態度を評価するOSCEと、知識・問題解決能力を評価するCBTがあります。

OSCEでは、薬の調剤や服薬指導などの実践形式の試験が行われます。最初は上手くできなかった服薬指導も、練習によりコミュニケーションを取りつつ服薬指導できるようになりました。試験当日は緊張しましたが、練習した成果を発揮することができました。

CBTでは、物理、化学、生物、衛生、医療薬学など幅広い分野について、択一式の試験が行われます。この試験に向けた復習を通して、これまでの授業で習っていた内容が繋がりと、薬学という学問への理解が深まりました。

これらの学習を通して、医療人としての心構えと、薬学の社会的な重要性について知ることができました。また、良い薬剤師になるために、今後も研鑽を積んでいこうと感じる良い機会になりました。

病院や保険薬局での実務実習が始まります。

## ●専門教育科目の履修

臨床薬学実務実習（病院実習）

臨床薬学実務実習（保険薬局実習）

卒業研究実習、コミュニティ・ヘルスケア実践



### 薬局実習体験談



**吉野 克利 さん**

石川・金沢泉丘高卒

私が実習させていただいた薬局は循環器・消化器の門前だったので、循環器の手術を経験した患者さんの服薬指導等も経験できました。処方内容や薬学の知識はもちろんのこと、耳が聞こえにくい患者さんに合わせて服薬指導するなど、現場でしか学べない多くのことを学びました。

在宅医療や学校薬剤師などの最近薬剤師に求められつつある業務も近くの薬局と連携して、経験することができました。

5年生となると進路をある程度決めている人が多いかもしれませんが、広い視点を持って薬局実習に積極的に取り組めば、薬剤師にならなくとも今後活かせる貴重な経験が出来ると思います。



薬局実習風景

### 実務実習（病院実習、薬局実習）

病院及び調剤薬局においてそれぞれ11週間の実務実習を行います。実際の業務を体験し、薬剤師としての知識、技能、態度を習得します。

病院実習は名古屋市立大学病院はじめ東海地区の病院で行われ、病棟での服薬指導や医師、看護師、他の医療従事者とチームで医療に携わることなどを学びます。

薬局実習は主に愛知県内の調剤薬局で行います。それぞれの薬局に1～2名の実習生が配属され、調剤や服薬指導を学びます。



病院薬剤部での調剤



### 病院実習体験談



**光成 琴音 さん**

広島・広島大附属高卒

病院実習では、院内調剤や抗がん剤調製、DI業務などの業務と、病棟業務の二つを並行して行います。

調剤などの業務は依然薬剤師の主要業務であり、薬物治療の最後の砦としての薬剤師の役割を実感しました。特に抗がん剤調製に関しては、実際に患者様に投与される抗がん剤を取り扱う、正確性の必要な緊張感のある業務でした。

病棟業務では、実際に入院患者様とお会いし、服薬指導や持参薬確認などを行います。病棟で実際に患者様と話すことは責任を伴うプレッシャーを感じつつも、患者様により良い治療を提供するための薬剤師の存在意義を学ぶことができました。チーム医療のカンファレンスに参加する機会も多くあり、病棟での薬剤師のニーズを学びました。

薬剤師を志す者として知識不足を痛感するだけでなく、自らの医療者としての姿勢も考えさせられる日々でした。薬剤師が活躍する場所は増えつつありますが、たどり着くところはより良い医療のため、という点と考えます。自分はどのような場所で医療に貢献できる人間になりたいのか、自分はどのような薬剤師になりたいのか、病院実習を経てより具体的に考えることができたと感じています。

# 薬学科

6 年生

## 薬剤師国家試験

### 博士課程

臨床薬学の  
研究の推進

卒業研究のまとめと薬剤師国家試験に向けた準備を行います。

- 専門教育科目の履修  
薬学演習、卒業研究実習

### 薬剤師国家試験

平成24年に新制度の薬剤師国家試験が始まりました。問題数、特に実務系の問題が大幅に増加し、より実践に即した出題形式に変わり、問題解決能力が問われるようになりました。複合問題も多く出題され、今まで以上に科目の壁を越えた知識が要求されています。新制度における薬剤師国家試験で本学は、この5力年で平均合格率(新卒)88.76%と全国平均を上回っています。



医療、行政、教育、研究及び産業分野  
で薬学の専門家として社会へ



## COLUMN

### 南カリフォルニア大学臨床薬学研修体験記

木原 星衣 さん  
東京・晃華学園高卒  
(写真左端)



私は、米国ロサンゼルスにある南カリフォルニア大学での臨床薬学研修に参加しました。

研修には、日本、韓国、中国、台湾などのアジア諸国の薬学生が約70名参加し、講義、グループワーク、薬局の見学ツアーなどが行われました。講義は、糖尿病の治療薬に焦点を当てて行われました。症例検討などの臨床的なものだけでなく、薬の立体構造から薬物動態を検討するなどの基礎科学的な講義もありました。もちろんすべての講義が英語で行われ、毎日の復習が大変でしたが、様々な視点から薬を見るという経験ができました。また、講義中のディスカッションやグループワークを通して、各国の学生と活発に意見を交換したり、各国の薬剤師の現状を知ることができました。米国の薬剤師は、治療計画の立案や処方の変更を行うなど、薬のエキスパートとして尊重され、患者の薬物治療に重い責任を担っています。現地の病院薬剤師の先生のお話を聞き、日本の薬剤師がもっと活躍していくために必要なことは何か、自分にできることは何かを深く考えさせられました。この研修を通じて、世界という広い視点から、日本の薬学教育や薬剤師の未来を考えるという貴重な機会を得ることができました。

## 卒業研究



竹腰 祐斗 さん

岐阜・可児高卒

薬学科では4年生から研究室に配属されます(2021年度入学生から3年次後期配属に変更になりました)。名大薬学部には臨床的な研究から基礎研究まで様々な研究室があるため、自分の興味のある分野の研究を行うことができます。最近、医学部の一部の研究室に配属することもできるようになり、選択肢が多くなりました。

私は創薬の基盤となる新たな知見を得たいと考え、基礎研究を行っている研究室を希望しました。研究室ではそれぞれの学生が明らかにしたいことをテーマとして持ち、実験を行っています。初めはわからないことだらけでしたが、実験をしたり、文献を何報も読んだりするうちに、「次はこんな実験をしてみたい」と考えられるようになってきました。ある程度結果が得られたため、それらをまとめて学外の学会で発表することができました。

また、研究室ごとにチームとなって行うスポーツ大会やコロナ禍以降は開催されていませんが、BBQなどが行われることもありました。研究生生活は大変なこともあります、楽しいと感じることも多く、充実した日々を過ごすことができています。

## 薬剤師国家試験



藤原 萌園 さん

京都・京都女子高卒

薬剤師国家試験は、薬学科6年間の講義や実習で学ぶほぼ全ての内容から出題され、薬剤師にとって重要な知識や応用力を問う試験です。各科目で足切り(必要最低点)も設けられており、偏った知識では合格できません。このように聞くと心配になるかもしれませんが、真面目に大学の講義を受け、直前の勉強も疎かにしなければ、合格は近づかずです。国家試験前には、国家試験直前には、外部の国家試験対策の専門家による話も聴講でき、膨大な出題範囲の中から押さえるべきポイントを学ぶことができます。時間は限られていますから、私はこの講義の板書を1冊のノートにまとめてとり、確実に点数につながるよう何度も見直しました。あとはひたすら過去問を解きました。勿論、最低限暗記しなければならないことはありますが、例えば薬の構造式全てを覚える必要はありません。それぞれの科目を個別にとらえるのではなく、関連付けて理解していけば、答えにたどり着きやすくなります。

6年生は卒業論文発表などもあり忙しいので、早いうちから計画的に勉強し、ゆとりをもって国家試験に臨みましょう。

## 在学生からのメッセージ



小林 里帆 さん

愛知・愛知淑徳高卒

私は2013年に薬学科(6年制)に入学しました。薬学科のゴールは薬剤師免許取得と考える人もいますが、社会で求められる役割は多岐にわたります。共通していることは、薬学の観点から、よりよい医療・生活を提供することに貢献できる力です。技術や知識はもちろんのこと、コミュニケーション力や発信力も必要とします。

薬学科では、様々な学生が、薬学のエキスパートを目指し、百人百様の6年間で過ごします。学生生活の多様性が高いが故に、周囲からの刺激を受けながら、将来の目標を自分自身で考え、その実現に向かって努力する姿勢が自然と身に付いたと思います。大学のサポートも手厚いので安心して勉学に励めます。このような学生生活の豊かさが卒業後の進路選択と社会での活躍に結びついていると感じています。

私自身の学生生活を振り返ると、入学後の早い時期から研究に参加できる「研究室体験」制度を利用して、学部2年次から神経薬理学教室に参加しました。薬学科を卒業した後、さらに研究を深めたいと考え、大学院の薬学研究科へ進学しました。研究室では、基礎科学と臨床医学の両方から「睡眠」について理解を深め、よりよい睡眠生活を提案できるよう、頑張っています。

未来あるみなさんと一緒に、素敵な学生生活を送ることを楽しみにしています。



卒業研究発表会





## 大学院進学について

臨床薬学の領域における研究能力をさらに高め、臨床薬学領域を国際的にリードする薬剤師・研究者を養成するために、平成24年度より4年一貫の大学院博士課程が設置されました。ここでは、より高度な専門的学術領域における知識や技能を体系的に習得するだけでなく、医療現場における様々な問題点を抽出し、それらを幅広い知識と経験により解決できる能力を培うことを目的としています。



### 1 大学院での研究活動

6年制学科と同様に、研究室に所属して以下のような臨床的な課題に取り組みます。

- 実践型研究(トランスレーショナルリサーチ、レギュラトリーサイエンス、医療安全など)
- 最先端研究(様々な疾患における薬物・生物療法やその体内動態、遺伝情報に基づく個々の患者に最適な薬物療法など)

### 2 地域の医療機関との連携による臨床教育・研究のサポート体制

臨床的な教育や研究を効率的に推進するために、臨床薬学教育研究センターを中心として名古屋市立大学病院や地域の病院・薬局などの医療機関等との積極的な連携体制を整備しています。

### 3 指導的な薬剤師、臨床薬学の研究・教育者の育成

日々進歩する医療と科学技術に対応できる人材として、「博士号」を取得した薬剤師に対する社会的ニーズは、今後より一層高まっていくと思われます。また、大学などのアカデミアで教育・研究職に従事するためには、「博士号」の取得は必須です。

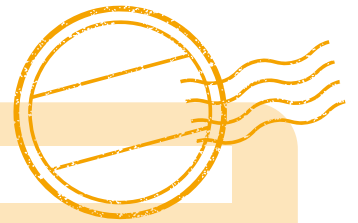
「博士号」取得後は、より深い専門性を身に付けた薬剤師としてだけでなく、医療に直結した研究者として、以下のような職種での活躍が期待されています。

- 大学病院などの主要な医療機関における指導的な薬剤師
- 大学における臨床薬学の教育・研究職
- 国や地方の公共団体における研究職
- ライフサイエンス関連企業(製薬、環境衛生、健康食品、医療機器等)における研究・開発職

他にも、薬剤師としての職能が求められる様々な分野をリードする人材として活躍が期待されています。



## 卒業生からのメッセージ



小田切 州広 さん

名古屋市立大学病院  
R2年薬学科卒業  
長野・伊那北高卒

私は病院薬剤師として働いています。大学入学時から患者さんの近くで仕事をしたいという思いもあり、この道を選択しました。現場で仕事をするという点で言えば、薬局やドラッグストアといった選択肢もあります。その中で病院という場所を選ぶことができたのは、多様な経験をさせてきた先生方、実際に就職をして働いている先輩、様々な考えをもつ友人との交流があったからです。

薬学部卒業後の進路は私のように病院薬剤師として働く以外にも様々な道があります。私もどんな進路を取るべきか、悩みました。きっと皆さんにも、一度きりしかない自分の人生をどう送るのか、悩み、迷う場面が訪れると思います。そんな時、名古屋市立大学での人との繋がり、講義や実習を通して得る物事の考え方、経験が活きてきます。ぜひ、名古屋市立大学で色々な人と出会い、経験をして自分だけの将来像を描いてください。それが病院薬剤師であれば同じ仲間としてこんなに嬉しいことはありません。心から応援しています。



徐 美香 さん

協和キリン株式会社  
R2年薬学科卒業  
奈良・西大和学園高卒

私は現在、製薬会社の臨床開発職データマネジメントとして、新薬申請のために必要な臨床試験データの品質を守り、解析結果の信頼性を保証することで、新しい薬を世の中に届ける仕事をしています。日々の業務では、大学で学んだ薬剤や疾患・サイエンスに関する知識を活かし、論理的に事実ベースで議論ができるように努める一方で、病院・薬局実習で感じた当時の思いや考えを忘れないよう邁進しており、病気と向き合う方々の笑顔のために貢献できる、現在の仕事にやりがいを感じています。

名古屋市立大学薬学部だからこそ出会うことができ、切磋琢磨した友人、先輩・後輩、多くの学びを下さった先生方との繋がりは私にとって人生の財産となりました。本学で過ごした全ての時間が、私を予想もしなかったわくわくする未来に導いてくれたと感じます。

みなさんは今、どのような未来を描いていますか？無限の可能性を秘めたみなさんの選択肢をより広げられる本学で、ぜひ多くを学び、仲間と繋がり、様々な経験を通じて、キャンパスライフとその先の未来が充実したものにすることを願っています。



長坂 真衣 さん

H31薬学科卒業  
R2大学院博士課程入学  
愛知・名古屋大学教育学部附属高卒

薬の専門家として医療に貢献したいと考え、薬学科卒業後は病院薬剤師の職に就き、主にがん薬物療法に携わりました。日々やりがいを感じながら医療に携わる中で、臨床事実の背景にある基礎的なメカニズムに対して疑問を持つようになり、抱いた疑問を自身で探りたい・深めたいとの思いから、大学院博士課程へ進学いたしました。

現在、私は細胞情報学分野に所属し、がん悪性化メカニズムの解明を目指して研究を進めています。実際に臨床現場で得た経験は私にとってかけがえのない財産であり、学部生の頃とはまた違った視点を持って研究課題に取り組んでいるのではないかと思います。自身の研究成果を何らかの形で社会に還元できるよう、志を高く持ち、努力を重ねていきたいと思っています。



南 まどか さん

日本調剤  
R3年薬学科卒業  
徳島・徳島市立高卒

私は薬局薬剤師の1年目として働いています。薬局薬剤師と聞くと、薬局で薬を渡す人という印象が強いのではないのでしょうか。薬をお渡しし、適切な使用法を指導することも重要な業務の1つですが、その他にも業務は多岐に渡ります。調剤、薬剤監査、併用薬や嗜好品との相互作用チェック、持参薬整理、在庫管理など、薬を通して患者さまの健康を守る役割があります。

日々仕事をする中で、業務の変化を実感しています。2年前に私が学生として実務実習に参加した際には、近隣病院との連携やオンラインでの服薬指導は行われていませんでしたが、今では当たり前に行われています。薬剤師の社会的役割は拡大し続けており、それに伴って業務も変化するため、変化に対応できる力が必要だと感じています。

名古屋市立大学の薬学部には全国から学生が集まるため、多様な価値観、考えに触れることができます。また、勉学や研究だけでなく、部活動、アルバイト、ボランティアなど様々なことに取り組める環境もあります。多くの刺激を受け、柔軟な考え方を育むことは、薬剤師として大きな強みになると思います。大学生活で様々な経験を積み、社会で活躍されることを楽しみにしています。



服部 肇 さん

厚生労働省  
H30薬学科卒業  
愛知・明和高卒

高校生の皆さまが薬学部（6年制）の卒業先と聞いて思い浮かべるのは「現場の薬剤師」、「製薬企業で新薬開発」、「研究機関で基礎研究」といったところでしょうか。私が勤める厚生労働省（薬系技官）も薬学部での学びを十分に活かせる仕事の1つです。

医療や食品安全など幅広い業務に携わりますが、様々な部署において薬学部で覚えた専門知識だけでなく、自分にとって未知の科学的知見に触れることが多々あります。新薬の承認審査等の場面では、そのデータのみならず医療現場での使われ方・ニーズの理解も求められます。それらを確実に理解する上で、薬学部で履修する多様な専門講義や病院・薬局実習で培った素地が活きてきます。

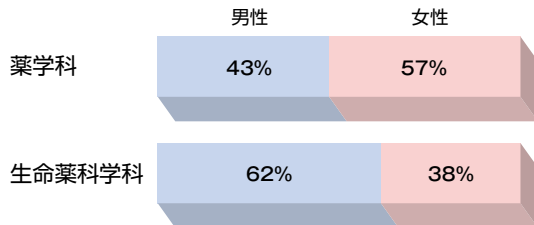
また、名古屋市立大学薬学部には、専門講義や実習内容以外でも、研究や医療系の課外活動その他自分が興味あることについて相談しやすい先生方がいます。薬学部の勉強は大変ですが、せっかくの大学生活ですので勉学以外のことも沢山経験してほしいですし、それができる環境であると思います。本パンフレットをご覧になられた皆さまが私たちの同窓生となって方々に活躍されることを期待いたします。

## 薬学部の先輩たち

### 〈在学生データ〉

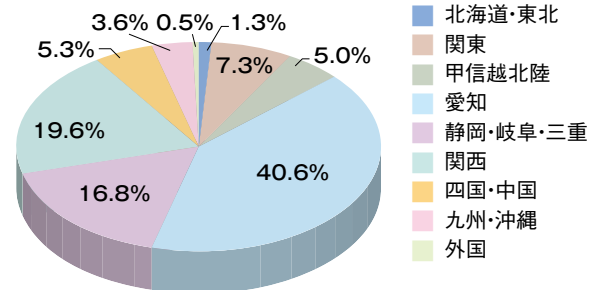
#### 在学生の男女比

薬学科は、女子学生が多く在籍しています。生命薬科学科は、男子学生が約6割を占めています。



#### 在学生の出身地

東海地方(愛知、岐阜、三重、静岡)の出身者は5割強ですが、北海道から沖縄まで全国各地より入学しており、多様性に富んだ、意欲的な学生が学んでいます。



### 〈クラブ・サークル活動〉

名古屋市立大学には、運動系クラブ27、文化系クラブ24、同好会が19あり、それぞれ活発な活動を行っています。薬学部生の多くも、これらのクラブ、同好会に参加し、めざましい活躍をしています。

#### オーケストラ部



佐々 徳啓 さん

生命薬科学科  
愛知・向陽高卒

名古屋市立大学管弦楽団(通称名市オケ)は週2~3回、主に滝子キャンパスで活動し、年2回行われる演奏会に向けて日々練習に取り組んでいます。名市オケは薬学部をはじめ他学部・他大学の学生、小さい頃から楽器を習っている人から大学から楽器を始める人まで、様々な仲間から構成されています。約80名いる部員のうち半数は他大学の学生です。そんな仲間たちと一つの音楽を目指して切磋琢磨できることが名市オケの魅力です。また、名市オケだけではなく、東海地方の大学オケに所属している団員が集まって演奏会を行う催しにも参加することができ、ほかの部活やサークルよりもいろいろな学生との関係の輪を広げることが出来ることも魅力の一つです。

名市大にはたくさんの部活やサークルがあり、それぞれに違った魅力があります。勉強やバイトとの両立が難しいと感じるかもしれませんが、サークルに入るとは間違いなく大学生活を豊かにします。ぜひいろいろな活動に興味を持ち、自分に合ったサークルを見つけてみましょう。

#### バドミントンサークル



キム キョンス さん

薬学科  
韓国・ビンジョンム高卒

私たち全学バドミントンサークル A&S は、滝子キャンパスの体育館で主に週1回日曜日に活動しています。日曜日の活動が負担に思われるかもしれませんが、自由参加ですので来れる時だけの参加でも大丈夫です。サークルには多様な学部の人や、薬学部以外の友達を作ることができます。また、バドミントン経験者から、私のように大学から始めた初心者までバラバラで、だれでも楽しめます。活動内容はバドミントンの基礎技を練習するパートと幾つかのグループに分かれて2対2のゲームを行うパートで構成されていて、ゲーム中に自然に仲良くなれます。

大学生として勉強は大事ですが、仲間と一緒に汗を流したり、何か夢中になれることを見つけて一所懸命になることで得る経験もまた大切です。それは研究活動と並ぶ大学生活のだいごみであると思います。名市大には本当に多様なサークルや部活があります。素敵な仲間と出会うためにも是非興味を持った活動に積極的に参加して一生の思い出になるような輝かしいキャンパスライフを楽しんでください。

#### バスケットボール部



星合 彩那 さん

薬学科  
三重・高田高卒

私たち全学バスケットボール部は、滝子キャンパスの体育館で週3回活動しています。男女合わせて約50名が所属しており、様々な学部の学生から構成されています。

バス経験者だけでなく、大学からバスケットを始めた人もおり、初心者であっても、先輩が優しく教えてくれます。部員はみな大会で勝つことをチームの目標として、日々の練習に懸命に励んでいます。また、春にはお花見、夏にはBBQや花火大会、冬にはクリスマス会といったように1年を通してたくさんのイベントがあります。このようなイベントを通して、同期や先輩、後輩と色々な話をしながら仲を深めることができ、たくさんの思い出ができます。私はこの部活に所属して、薬学部だけでなく、他学部にもかけがえのない仲間が出来、その仲間たちと一緒に1つの目標に向かって努力するという素晴らしい経験ができたと思います。名古屋市立大学には素晴らしい経験ができる部活やサークルがたくさんあるので、興味があるものには積極的に参加してみてください。きっと大学生活を充実したものにできると思います。

#### クイズ研究会



太田 凜果 さん

生命薬科学科  
埼玉・浦和第一女子高卒

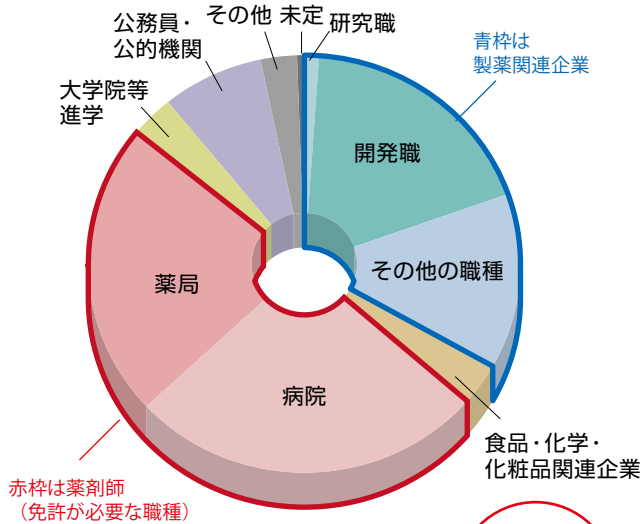
名古屋市立大学クイズ研究会は、滝子キャンパスにある学生会館で週2~3回活動しており、学部関係なく初心者から経験者まで様々な学生が在籍しています。そして、年一回の団体戦の大会に向けて、全国大会に進出できるように日々切磋琢磨しています。クイズ研究会の魅力は、今までに得たどんな知識・経験も全て活かせるところにあります。例えば、学校の授業で習ったこと、読んだことのある本、見たことのある映画、行ったことのある場所、その全てが問われるのがクイズです。覚えることが数多くあり大変ではありますが、自分で身につけた知識をもって正解できたときはとても気持ちがいいです。

名古屋市立大学にはたくさんの部活やサークルがあります。それぞれに違った魅力があり、きっとこれまでの人生で得られなかった経験が得られると思います。まずは自分が興味のあることに積極的にチャレンジし、一度きりの大学生活をより充実したものにしてください。



令和元年度～3年度

薬学科卒業生の進路



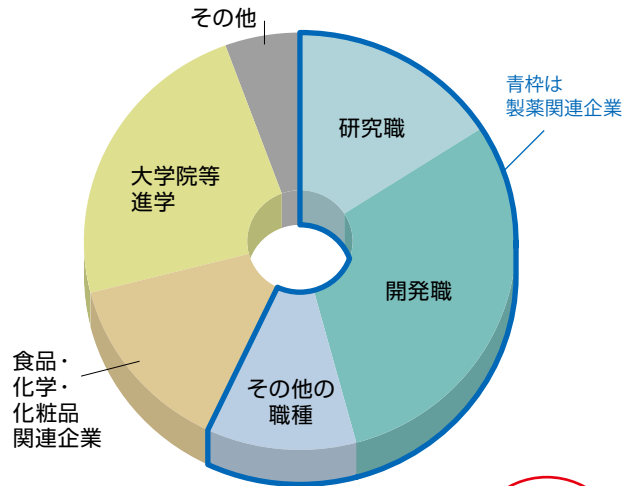
病院や保険薬局の他、さまざまな分野に就職しています。

進路決定率  
**99%**

令和元年度～3年度

博士前期(修士)課程修了者の進路

※海外からの留学生を除く



大学院修了者のうち企業への就職を希望する学生の大半が製薬関連企業の研究職または開発職などに就職します。

進路決定率  
**100%**

製薬関連企業	第一三共、塩野義製薬、中外製薬、田辺三菱製薬、興和、協和キリン、小野薬品工業、アステラス製薬、エーザイ、日本新薬、扶桑薬品工業、バイエル薬品、日本イーライリリー、ファイザー、日本ベーリンガーインゲルハイム、 Bristol・マイヤーズスクイブ、MSD、旭化成ファーマ、ロート製薬、大峰堂薬品工業、マルホ、テルモ、JCRファーマ、イービーエス、EAファーマ、IQVIAサービシズジャパン、リニカル、エイツーヘルスケア、インテリム、シミック
病院薬剤師	名古屋市立大学病院、藤田医科大学病院、東北大学病院、岡山大学病院、大分大学病院、京都府立医科大学病院、金沢医科大学病院、国立病院機構、豊橋市民病院、公立陶生病院、一宮市立市民病院、刈谷豊田総合病院、名古屋徳洲会総合病院、豊田厚生病院、稲沢厚生病院、江南厚生病院、愛知厚生連渥美病院、市立恵那病院、横浜南部病院、板橋中央総合病院、名南病院、日本パプテスト病院、海南病院、諏訪赤十字病院、伊勢総合病院、さがみらハビリテーション病院、大阪市民病院機構、京都中部総合医療センター、東京労災病院、博愛会病院、聖隷浜松病院、聖隷横浜病院
薬局薬剤師	アインホールディングス、日本調剤、ウエルシア薬局、クオール、ココカラファイン、スギ薬局、メディカルー光、中部薬品、サンドラッグ、フロンティア、メディカルシステムネットワーク、ミック、あさかぜ薬局
食品・化学・化粧品関連企業	日本ハム、アビ、日本コルマー、名糖産業、日立化成、一丸ファルコス
公務員・公的機関	厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、愛知県、愛知県警科学捜査研究所、大阪府、和歌山県、名古屋市、豊田市、岐阜市、浜松市
大学院等進学	名古屋市立大学大学院薬学研究所、大阪大学大学院薬学研究所、名古屋大学医学部、琉球大学医学部
その他	三菱商事、リンクアンドモチベーション、羊土社、南山堂

製薬関連企業	第一三共、塩野義製薬、エーザイ、大塚製薬、中外製薬、小野薬品工業、日本新薬、新日本科学PPD、興和、協和キリン、日本新薬、三和化学研究所、富士薬品、キッセイ薬品、ファイザー、バイエル薬品、日本ベーリンガーインゲルハイム、マルホ、ロート製薬、久光製薬、大鵬薬品工業、富士製薬工業、千寿製薬、御木本製薬、ニプロファーマ、アルフレッサファーマ、日本点眼薬研究所、日本農薬、生命科学インスティテュート、アヴヴィ、トーアエイヨー、ラクオリア創薬、イービーエス、リニカル、シミック、CACクロア、エイツーヘルスケア、ベルシステム24、IQVIAサービシズジャパン、シーボック、シーユーシー
食品・化学・化粧品関連企業	花王、サーモフィッシャーサイエンティフィック、関東化学、三洋化成工業、日立ハイテック、日本メナード化粧品、アビ、アンズコーポレーション、東ソー、スベラネクス、タカラバイオ、JTL、伊那食品工業
大学院等進学	名古屋市立大学大学院薬学研究所、名古屋大学大学院工学研究所、名古屋大学大学院医学研究所、東京大学大学院薬学研究所、大阪大学大学院医学研究所、大阪市立大学医学研究所
その他	野村総合研究所、ARISE analytics、テロイトトーマツコンサルティング、WDB エウレカ、メディカルノート、アビームコンサルティング



令和元年度～3年度

博士課程修了・博士号取得者の進路

※名古屋市立大学薬学部卒業生のみ

薬学科(6年制)の卒業生で、さらなる研鑽を希望する学生は、大学院博士課程(4年制)へ進学します。修了者の多くは、大学での教育・研究職や、大学病院等に就職し、指導的な役割を担います。製薬関連企業でも、薬剤師と博士号の両方の資格を活かせる職があります。

進路決定率  
100%

大学教員・研究職	名古屋市立大学
製薬関連企業・研究職	塩野義製薬、中外製薬
公務員・公的機関	医薬品医療機器総合機構
病院薬剤師	名古屋市立大学病院、 東京ベイ・浦安市川医療センター

令和元年度～3年度

博士後期課程修了・博士号取得者の進路

※名古屋市立大学薬学部卒業生のみ

生命薬科学科(4年制)の卒業生で、博士前期課程(2年制)を修了、修士号を取得した後、さらなる研鑽を希望する学生は、大学院博士後期課程(3年制)へ進学します。修了者の多くは、大学や製薬関連企業で、教育・研究職に従事し、指導的な役割を担います。

進路決定率  
100%

大学教員・研究職	京都大学、北海道大学、崇城大学、 ブリティッシュコロンビア大学
製薬関連企業・研究職	武田薬品工業、住友ファーマ、興和、 日本たばこ産業、MSD



OBからのメッセージ



木村 和哲 さん

名古屋市立大学 学長補佐 特任教授  
S55学部卒 H16博士学位取得

私は「患者さんの近くで仕事がしたい」という思いから卒業後、病院薬剤師の道を選択しました。この30年の間に病院で勤務する薬剤師の業務は大きく変わり、個々の薬剤師の能力や専門性が問われる時代となりました。がん化学療法や緩和ケア、救急医療など医療現場には薬剤師が取り組まなければならないテーマがいたる所に在ります。また、医療安全室や感染制御室にも薬剤師を派遣しています。幸い、名市大は東海地区で唯一、附属病院、医学部、薬学部、看護学部を有し臨床薬剤師の育成にはこの上ない環境下にあります。大学1年次には、医療系学部連携早期体験学習という、医学部・看護学部の学生とグループを作りチーム医療の必要性を学びます。2021年度から東部医療センター、西部医療センターが大学病院化して全体で1800床の大学病院となりました。医療現場で薬剤師を中心とした臨床研究もいくつも立ち上がっています。是非、この名市大薬学部で学び、患者から信頼され、医療スタッフから尊敬される薬剤師を目指しましょう。我々卒業生は全力で貴方たちを応援します。



日比 陽子 さん

名古屋市立大学 大学院医学研究科  
臨床薬理学分野 教授  
名古屋市立大学病院 薬部部長  
H4学部卒業、H6 修士課程修了、  
H9博士課程修了 博士(薬学)学位取得

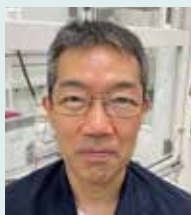
薬剤師は医療チームの一員として、医師・看護師・栄養士など様々な医療スタッフと協力しながら患者の治療に取り組んでいます。病院で多くの医療スタッフと共に働くだけでなく、地域医療のチーム内でも薬剤師の活躍場面は増えています。薬剤師の役割は、薬の化学的性質や薬が作用する仕組みなどの専門知識を駆使して、患者の薬物治療が適切に行われ治療の目標に向かうように導くことです。医師が処方した薬の量や使い方を確認し、問題があれば医師に処方修正の依頼や別の薬の提案をします。また患者には薬の説明を行うなど安心して治療に向かえるようにサポートします。さらに医学的疑問を見つけた時には医師と共に研究をおこない医療の進歩に努めています。名市大は医・薬・看の3医療系学部と病院を持つことから、カリキュラムでもクラブ活動でも医学生や看護学生と近い距離で学ぶことができるのが魅力です。学生時代に構築した人間関係は将来にわたって力になると思います。皆さんも是非、名市大薬学部で学び、仲間と共に活躍しましょう。



林 きよみ さん

春日井市薬剤師会会長  
アイセイ薬局  
S58年 学部卒

現在の薬局薬剤師の仕事は対人業務にシフトしてきています。薬を正確に患者さんに渡すだけでなく、薬学的観点から安全安心な薬を提供し、服用後の効果・副作用もフォローしていきます。また地域住民に役立つ薬局・薬剤師であることも求められています。私は調剤薬局で店長として勤務しながら、春日井市薬剤師会会長も務めており、患者さん・社会から求められる薬剤師を実現するために力を尽くしています。市長を交えた会議に出席することも多く、地域における薬剤師の存在の重要性を改めて感じています。今思えば、大学での勉強と研究が現在の仕事の基礎となっています。同級生と協力しながら医薬品の合成を何時間もかけて行ったこと、卒業研究では当時始まったばかりのPCでプログラムを組み、動物実験のデータを処理していたこと等、全て現在の仕事の原点となり、自信につながっています。また、4年間所属していたオーケストラ部ではコンサートマスターを務めるまでに熱中して活動していました。他学部・他大学の学生もいましたので、社会における人間関係形成の基礎を学んだと思います。名市大の厳しくも明るい校風が自分を大きく成長させてくれました。薬学部での6年間は人生の基礎の全てを学ぶ貴重な時間です。充実した学生生活を過ごし、卒業後は医療人として社会に求められる人になって欲しいと切に願っています。



**櫻木 明** さん

田辺三菱製薬株式会社 サプライチェーン本部  
製品技術研究所 マネージャー  
H6博士前期課程修了

唐突ですが、みなさん理科の実験は好きですか？リトマス試験紙の色の変化を確認したり、酸素や水素を発生させて炎を近づけてみたり、理科室でワクワクした思い出はありませんか？教室での先生の授業よりもそんな理科の実験の方が記憶に残っているという方も多いのではないのでしょうか。

私も大学の授業で思い出されるのは、化学・物理・生物の実習をたくさんさせてもらったことです。実験がうまくいかないことも多々ありましたが、仲間と一緒に取り組んだことは良い思い出です。

卒業研究や大学院では化学合成を専門にしたため、生物や物理にはあまり触れることはありませんでしたが、製薬会社に入って新薬のプロジェクトに関わっていると学生時代の知識が活かされることもありました。

現在、私は製薬会社でプロセス化学という研究業務に携わっています。プロセス化学者は、薬の有効成分を安全に、安く、高品質で製造できる方法を研究し、工場で大規模に製造できるまでに仕上げる研究者です。患者さんに安心して服用いただくため、若い研究員とともに実験データを積み重ねています。

私の学生時代とは見違えるほど綺麗で立派になった名市大の校舎皆さんの未来を切り開く学生生活を送ってみませんか。



**香西 麻里子** さん

ファイザーR&D合同会社 薬事統括部  
開発薬事第三グループ マネージャー  
H12博士前期課程修了

博士前期課程修了後にファイザー(株)の臨床開発部門に就職し、現在は規制当局(厚生労働省や医薬品医療機器総合機構)への対応を行う部署で働いています。

新薬の開発は十数年に及ぶ長い年月と莫大な投資を要し、企業のみならず世界中の研究者、医療者や患者との協業が不可欠な一大プロジェクトです。また、科学の進歩より日々革新的な治療法が生み出され、同時に新たな課題も出現し、常に目まぐるしい変化とチャレンジングな環境の中に居ます。大学時代に培ったことが現在の仕事に繋がり、世の中で必要とされる新薬の開発に携わり、微力ながらも医療に貢献できるやりがいのある仕事に国内外の仲間と日々取り組めることに感謝と喜びを感じています。学生時代は、様々なものに出会い、吸収し、悩み、挑戦し、視野を広げ、人間として成長できるかけがえのない時間です。名市大の素晴らしい環境の中で、のびのびと、学業はもちろん多くのことを体得し、将来の夢や情熱を傾けられるものを見つけてほしいと思います。



**坂田 絵理** さん

ゲッティンゲン大学医学部・聴覚神経科学研究科  
グループリーダー  
H19年博士後期課程修了

薬学部に進学後のキャリアに研究者になるという選択もあるのを知っていますか？私は現在、ドイツのゲッティンゲン大学医学部でグループリーダーとして、研究グループを率えています。名市大の生命構造学分野の加藤晃一教授の下に卒研生として入ったのがきっかけで、研究の面白さ、奥深さに魅了され今に至ります。名市大には、大学、修士、博士課程まで計9年間在籍しました。その後、東京都医学部、ドイツ・マックスプランク研究所、アメリカ・イェール大学と移りながら研究を続け、2019年からゲッティンゲン大学で研究グループを立ち上げました。研究の世界の素晴らしさは、世界中の研究者と語り合い、競い合い、尊重し合い、新しい概念を見つけていくことにあると思います。名市大で研究に携った6年間、研究の楽しさを学び、海外の研究者に接する機会に恵まれました。研究を続けていく過程で、大学で学んだ知識を役立てたことが何度もありました。高校生の皆さんだけでなく、在校生の皆さん、特に女性の皆さん、自分の可能性を信じて諦めずに自分の進む道を見つけてください。



**山村 寿男** さん

名古屋市立大学 大学院薬学研究科  
細胞分子薬効解析学分野 教授  
H9年学部卒業 H14博士学位取得

名市大薬学部を卒業後、大学院に進学して博士号を取得しました。その後、日本学術振興会特別研究員を経て、名市大薬学部採用され、平成30年度より研究室を担当しています。大学入学より30年間お世話になっている母校名市大の研究と教育の発展に微力ながら尽力しています。

私の専門は「薬理学」という薬が体の中でどのように作用するかを学ぶ学問です。体の構造から病気のメカニズム、そして薬が作用する仕組みについて学びます。私たちの研究室では、難病の一つである肺高血圧症を研究しています。今までにも治療薬がいくつか開発されていますが、それらが効かない患者さんが多くいます。そのため、イオンチャネルや受容体とよばれるタンパク質に作用する新しいタイプの肺高血圧症治療薬を創っています。

名市大には教育・研究・医療をリードする薬剤師や薬学研究者を養成する環境が整っています。明確な目的意識をもって能動的に学修し、学生生活(成功も失敗も全て)を通して、幅広い領域で活用できる知識・技術・経験を修得してください。

名市大でああなたの将来(キャリア)を切り拓いてみませんか。



**渥美 文昭** さん (株)杏林堂薬局 代表取締役会長 S62年薬学部卒業 H11年経済学部卒業

私が経営する杏林堂薬局は、店舗数 93 店舗・売上高 1250 億円のドラッグストア企業です。私は、名市大薬学部を卒業後、同じ名市大の経済学部も卒業するという珍しいキャリアを持っています。薬学部の研究室がとても楽しかったので、研究者の道に進む事を考えていましたが、大学4年時に、父親とアメリカのドラッグストアを見学に行き、「日本にこんな店があったらとても便利になるぞ!」と感銘を受け、「日本にアメリカ型の本格的なドラッグストアを作ろう!」と、将来の展望を持ちました。どうせ薬局経営をするのなら、本格的に経営学を勉強して、『経営のプロ』として臨みたい!と考え、名市大の経済学部の経営学研究室に編入させていただきました。

現在は、薬剤師・医療関係者としての知識・経験と、経営のプロとしての知識を活かして、ドラッグストア経営に邁進しております。薬学部を卒業しても、薬剤師になるだけでなく、何にでもなれます!ビジネスの世界でも、本気で生きて行けます!薬学部は守備範囲が広く、将来、ツブしが効きます!可能性は、無限に広がっています!皆様の、『ヤル気』と、『頭の柔らかさ』次第です!名市大薬学部で様々な経験をして、皆様方の可能性を広げて、大きく羽ばたいて活躍していただける事を期待しています!



開学70周年記念の時計塔と講義・図書館棟

## キャンパス(田辺通キャンパス)

薬学部のある田辺通キャンパスには、講義・図書館棟(①②)、実習棟(③④)、研究棟(⑤⑥)、先端薬学研究施設・共同利用研究施設、創薬基盤科学研究センター、喜谷記念がん研究センター(⑦)、カフェテリア(⑧)、薬用植物園(⑨)、薬友会館(⑩)、といった施設があります。研究棟のすぐとなりには、クラブ棟(⑪)、野球場(⑫)、廐舎(⑬)、馬場(⑭)があります。

講義・図書館棟は、講義室と図書館(総合情報センター田辺通分館)、宮田専治記念ホールからなります。宮田専治記念ホールは、285人収容可能な大ホールで、講義や試験だけでなく、講演会などさまざまなイベントが行われます。さらに大講義室と中小の講義室が合わせて6つあります。実習棟とは全長100mに及ぶ全面ガラス張り2層吹き抜けのキャンパスモールで結ばれています。2階にある総合情報センター田辺通分館では、主に薬学・化学・生化学とその関連領域の資料を収集し、人文・社会科学を始め広く一般教養資料を収集する山の畑分館や、医学・看護学系の資料を収集する川澄分館など他分館も連携し、薬学部の学生・院生・教員を中心とした学内利用者へ各種サービスを提供する一方で、学外・地域の方々への専門資料の公開も進めています。

実習棟は、基礎薬学の実習室(化学系実習室と物理・生物系実習室)のほか、6年制薬学教育に対応した模擬病室、模擬薬局、OSCE室、CBT室からなります。各種実習のための最新機器に加え、効率的に実習をすすめるためのAV設備、各実習室を映像録画できるネットワークカメラシステムを完備しています。



講義室



宮田専治記念ホール



図書館



模擬薬局



キャンパスモール

薬学部の正門を入ると左手にレンガ色の外壁と正面に大きなガラス窓を配した3階建の薬友会館があります。この建物は薬学部創立百周年を記念して薬友会が募金によって建設し、1984年7月に名古屋市に寄贈されたものです。1階には茶室「薬炉庵」、2階に懇親会にも使用できる研修室（和室30畳）、3階には水野メモリアルホールがあり、学生、教職員、卒業生の集会、憩いの場として利用されています。



薬友会館

その隣には、先端薬学研究施設・共同利用研究施設・創薬基盤科学研究所・喜谷記念がん研究センターがあり、実験動物飼育施設、放射線実験施設、遺伝子組換え実験施設などが入っています。また、質量分析装置、共焦点レーザー顕微鏡、フローサイトメトリーなど様々な最新の高度研究機器がおかれています。平成28年には、創薬基盤科学研究所が文科省の「共同利用・共同研究拠点」として認定され、わが国の創薬研究の拠点として様々な活動をおこなっています。さらに、本学薬学部教授で優れた抗癌剤を開発された喜谷喜徳先生のご業績を記念して、「喜谷記念がん研究センター」を設置し、喜谷財団のご支援で創薬のための最新鋭機器が新たに導入されました。科学技術の進展はめざましく、新しい研究機器も次々と開発されています。研究に携わる教員や学生の不断の努力はいうまでもありませんが、本施設の最先端の研究設備が薬学部における創薬科学や生命科学の研究と教育を強力にサポートしています。



先端薬学研究施設 共同利用研究施設  
創薬基盤科学研究所 喜谷記念がん研究センター

正門から向かって奥の建物が研究棟です。研究棟には、薬学部の各研究室に加え、共用機器室、NMR室などの共同利用の研究施設もおかれ、充実した研究環境となっています。ピロティ、ロビー、中庭、各階に設けられたラウンジなど斬新なデザイン・設計が施されています。研究室配属での卒業研究、大学院進学後の研究活動は研究棟で行います。



研究棟入口



研究棟内のラウンジ



薬用植物園での市民公開講座

薬用植物園では、学生に薬用植物や生薬についての生きた知識を学んでもらうことを目的として、日本薬局方に収載されている生薬や漢方薬の原料となる植物の他、西洋ハーブや香料、染料などの原料となる有用植物を中心に、約400種の植物の栽培と収集を行っています。また、遺伝子資源の保護という立場から貴重な薬用植物資源の収集、保存にも取り組んでいます。原則的に非公開ですが、年に4回、市民の方を対象に公開講座を開催しています。

カフェテリアには、名古屋市立大学生生活協同組合が運営する購買部と食堂があり、地元の方も利用されています。

野球場、馬場は、それぞれ名古屋市立大学硬式・準硬式野球部と馬術部が練習に使用しています。野球場は、各研究室対抗ソフトボール大会の試合にも利用される他、休日には地元のリトルリーグも利用しています。



カフェテリア



厩舎

## キャンパス周辺

名古屋市立大学薬学部キャンパスのある名古屋市瑞穂区は、名古屋市の中央やや南に位置し、薬学部キャンパスを始め教育施設や博物館などが集まる文教地区となっています。地下鉄名城線、桜通線、市バスなどの交通網が整備され、明るく住み良い文化的な生活ができる区として、進展が期待されます。

薬学部キャンパスのすぐ隣には桜の名所として名高い山崎川が流れ、川沿いと山崎川公園は区民の憩いの場となっています。

また、近くには、名古屋市総合運動公園があり、名古屋グランパスの本拠地でもあるパロマ瑞穂陸上競技場をはじめ各種スポーツ施設が整備されています。

その他、周辺の桜山地区には名古屋市立大学医学部および附属病院が、八事(やごと)地区には名城大学や中京大学があり、学生向けの店舗や飲食店が多くあります。さらに少し足を延ばせば、熱田神宮、東山公園、名古屋城、ナゴヤドームといった名所を楽しむことができます。



名古屋城



バンテリンドームナゴヤ



山崎川

## 薬学部キャンパスとその周辺の環境



北野 ひかり さん

薬学科  
千葉・県立千葉高卒

みなさんは薬学部のキャンパスに来たことがありますか?薬学部の田辺通キャンパスは、桜の名所でもある山崎川沿いにあります。入学してこのキャンパスを訪れると、満開の桜がみなさんを歓迎してくれるでしょう。この田辺通キャンパスは、新しく建て替えられてまだ間もなく、とても綺麗で広々としています。ガラス張りのキャンパスは、とても明るく、気持ちよく過ごすことができます。薬学部ならではの設備も充実しており、薬学を学びやすい環境が整えられています。中でも、薬草園には、様々な薬用植物が植えられていて、生薬の原料について実際に自分の目で学ぶことが出来るのもこのキャンパスの魅力の1つです。また、周りは閑静な住宅街なので、下宿生も安心して住むことができます。電車やバスのアクセスもよく、すぐに名古屋の中心部に出られるので、買い物や遊びも楽しみながら学生生活を送っています。

みなさんも自然豊かで綺麗なキャンパスで、私たちと一緒に学びませんか。



名古屋市博物館



パロマ瑞穂陸上競技場



熱田神宮

# 学生生活 Q & A

学生生活に関して、よくあるご質問と回答

## Q1 クラブやサークル活動はできますか？

**A1.** 薬学部は講義や実習が多く忙しいですが、その合間を縫って、クラブ・サークル活動も活発です。全学のクラブに加えて、薬学部生だけのための部活もあります。

## Q2 食堂などは充実していますか？

**A2.** 田辺通キャンパス、滝子キャンパスともに生協があり、食事に限らず、生活用品の購入ができます。食堂では、栄養バランスを考えたメニューが豊富に用意されており、毎日楽しく食事ができる環境です。

## Q3 入学後、勉強などの悩みについて相談できる機会はありますか？

**A3.** 薬学部では、学生約8人につき1人のチューター教員がつき、学業等の悩みなど、いつでも学生の相談を受け付けています。悩み事があれば遠慮なく、相談に来てください。また、滝子キャンパスでは、専門のカウンセラーを配置した保健管理センターを設けています。

## Q4 奨学金などの経済的な援助を受けることはできますか？

**A4.** 名古屋市立大学では、日本学生支援機構、民間、地方公共団体などの各種奨学金給付団体への推薦を行っております。現在、日本学生支援機構奨学金については、全学生のうち約4分の1が貸与を受けています。また、経済的理由により、授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀と認められた場合には、選考のうえ、授業料を減免する制度を設けています。

## Q5 アルバイトはできますか？

**A5.** アルバイトをしている学生は少なくありませんが、講義、実習などで時間的余裕は少ないのが現状と思われます。アルバイトをする場合は、あくまでも学業優先を念頭において、しっかり両立することを心がけましょう。

## Q6 入学後に転学科はできますか？

**A6.** 薬学科ならびに生命薬科学科の定数は厳守しなければいけません。このため、入学後に転学科することは非常に困難です。ただし、一般選抜により入学した場合に限り、1年次および2年次の2月中に転学科許可申請書を提出し、様々な条件がすべて満たされれば可能です。

## 薬学祭

### 薬学生が企画、運営する一大イベント

薬学部の学生が企画から当日の運営まで行う薬学祭は、毎年大変な盛り上がりを見せます。

薬学祭では、「製薬体験」など市民の方にも薬学に触れていただくことができる企画が目白押しです。みなさんも薬学部に入学して、薬学祭で大いに活躍してみませんか？



キャンパス内の模擬店



盛り上がるステージ



子どもたちと触れ合う製薬体験

## 実行委員長（令和元年度）



大崎 康太さん

薬学科  
滋賀・石山高卒

薬学祭とは毎年10月に行われる薬学部の学生が主体となって運営する大学祭です。薬学祭では老若男女が楽しめるお化け屋敷、模擬店、カフェなどの他に、製薬体験や薬草園ツアーなどの薬学部の学生にしかできない企画も用意しています。この薬学祭には薬学部生だけでなく他学部、他大学の学生や地域の方々も多く来場され大変盛り上がる薬学部の一大イベントです。学生一人の力では薬学祭を運営することはできませんが、先輩や後輩、先生方、地域の皆さま等、多くの方々の協力によって毎年素晴らしい薬学祭を開催できています。また薬学祭を通じて先輩や先生方との繋がりも生まれます。この薬学祭では学生個々の力を一つにすることで成功しています。名古屋市立大学薬学部の学生にしかできない薬学祭を私たちと一緒に成功させましょう！

皆さまのご入学を心よりお待ちしております。



## 名古屋市立大学薬学部に入学するには

入学試験は3種類あります。みなさんの適性にあう試験を選んでください。  
もちろん全て受験することもできます。

	出願時期	試験日	合格発表	試験科目	募集定員	備考
学校推薦型 選抜A	11月上旬	11月下旬	12月上旬	小論文及び面接	生命薬科学科4名 薬学科6名	1高校からの推薦 人数に制限はありません。
学校推薦型 選抜B	1月上旬～中旬	2月上旬	2月中旬	面接	生命薬科学科8名 薬学科15名 名古屋市高大接続推薦枠各学科2名を含む	
公立大学 中期日程	1月下旬～ 2月上旬	3月8日	3月下旬	英語、数学、化学	生命薬科学科38名 薬学科44名	

### 幅広い学びで豊かな人間形成を育む教養教育科目

1年生は、滝子キャンパスにおいて教養科目を中心に学習します。名古屋市立大学は7学部からなる総合大学であり、教養科目にも幅広いメニューが用意されています。また、英語教育には特に力を入れており、英語科目の6割以上がネイティブスピーカーによる少人数授業です。さらに、英語検定やTOEICなどの試験で一定の成績を得た場合、正式な単位として認定されます。他にも、ボランティア活動による単位認定制度もあります。

### 入学試験に関して、よくあるご質問と回答

**Q1** 他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願しているのですが、名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Aにも出願できますか？

**A1.** できません。本学部の学校推薦型選抜Aに出願する場合、合否発表の前に他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願することはできません。

**Q2** 名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Aで不合格になった場合、他の国公立大学に出願できますか？

**A2.** できます。合格発表は12月なので、不合格となった場合は他の国公立大学に出願できます。

**Q3** 学校推薦型選抜に合格した場合、辞退して他大学または他学部に進学することはできますか？

**A3.** できません。合格した場合に入学を確約できる方だけが出願できます。

**Q4** 学校推薦型選抜Aにおける、調査書、小論文、面接の点数比率や採点基準は公表されていますか？

**A4.** 公表しておりません。

**Q5** 名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Bと、中期日程試験の両方に同時に出願することはできますか？

**A5.** できます。

**Q6** 名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Bと、他の国公立大学(前期・後期)に同時に出願することはできますか？

**A6.** できます。ただし、名古屋市立大学薬学部の学校推薦型選抜Bと他の国公立大学の学校推薦型選抜に同時に申し込むことはできません。

※以上は令和3年度についての場合です。入学試験制度や実施要項は変更される可能性がありますので、実際の出願に際しては事前に確認してください。

### 在校生からのメッセージ



伊藤 駿さん

薬学科  
岐阜・岐阜高卒

私は高校三年生に上がるときに名古屋市立大学薬学部を志望することを決めました。2種類の推薦入試、中期日程の一般入試、とそれぞれ大学への入り方は異なっても、何も学生生活に問題はありません。生物、物理のどちらを選択していても授業を聞いていけば分からないことはないですし、友達と助け合いながら勉強しています。特に化学を高校の内容よりも深く学ぶことができます。また、医学部、看護学部と一緒に活動する授業で、繋がりを作ることができ、大きな病院で実習をすることができます。薬学科と生命薬科学科は同じ授業も多く、学科の壁を超えて良い友好関係を築けます。薬学部は日本各地から来ている人が多く、多様な友達を作ることができます。さらに、「オリター」という一つの学年と仲良くなるためにオリエンテーションやサークルの紹介など様々な活動をする先輩たちがおり、後輩を助けてくれます。他にも薬学祭や、サークルで先輩と知り合う機会もあり、勉強やアルバイトなどの相談を気軽に行うことができます。



村端 思実さん

生命薬科学科  
熊本・済々黌高卒

名古屋市立大学薬学部には全国各地から高い意識を持った学生が集まってくるので、皆と交流する中で刺激を受けることがとても多いです。薬学部には薬学科と生命薬科学科がありますが、私の学んでいる生命薬科学科では創薬や生命科学の研究者を育成することを目的としており、大半が大学院に進学して研究者としての力を育成し、製薬関連企業で働いています。また、1年生の時期から専門的な内容に触れたり研究室に訪問したりする機会があるので、新たな内容を学ぶ中で将来への選択肢を増やし本当にやりたいことを見つけることができると思います。私自身講義や研究室訪問を通し体内の仕組みや作用など、体の未知なる本質的な部分に非常に興味を持ちました。私はこの大学に来たことで、ここでしか得られないものを見出すことができたので大学生活は非常に充実したものになっています。その他、名古屋市立大学には学生の様々な不安や悩みに関してしっかりとサポートする体制が整っているので、自分の目標に専念し追究した分だけ多くの知識や考え方を得ることができ、楽しく有意義な学生生活を送ることができます。





名古屋市立大学  
薬学部  
大学院薬学研究科



〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通3-1 TEL (052)836-3402 FAX (052)834-9309  
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/index.html>

ACCESS

- 名古屋駅(JR、名鉄、近鉄)から  
 地下鉄(桜通線(徳重行))「名古屋」(約17分)→「瑞穂区役所」下車、1番出口から東へ徒歩約15分
- 金山駅(JR、名鉄)から  
 市バス(金山16 瑞穂運動場東行)「金山」(約20分)→「市大薬学部」下車、徒歩1分  
 又は、(金山14 瑞穂運動場東行)「金山」(約20分)→「市大薬学部」下車、徒歩1分  
 地下鉄(名城線(左回り))「金山」(約14分)→「総合リハビリセンター」下車、1番出口から西へ徒歩約15分

【募集要項の請求はこちら】

1 パソコン・携帯電話から請求する場合



モバっちょ  
<https://djic-mb.jp/nagoya-cu/>



テレメール  
<https://telemail.jp/>

2 郵送などで請求する場合

名古屋市立大学ウェブサイトでご確認ください  
<https://www.nagoya-cu.ac.jp>



The background is a solid teal color. It features a pattern of white lines and circles representing molecular structures. There are several interconnected hexagonal rings, some of which are filled with a lighter shade of teal. The overall design is clean and scientific, typical of a university's branding for a science-related faculty.

# **NAGOYA CITY UNIVERSITY**

## **Faculty of Pharmaceutical Sciences**